

Oracle.1Z0-1072-20.v2022-08-03.q100

試験コード:	1Z0-1072-20
試験名称:	Oracle Cloud Infrastructure 2020 Architect Associate
認定資格:	Oracle
無料問題数:	100
バージョン:	v2022-08-03
アクセス数:	1297
ページビュー数:	1000
https://www.jpnpdf.com/Oracle.1Z0-1072-20.v2022-08-03.q100-mondaishu.html	

最新問題: 1

Oracle Cloud Infrastructure Object Storage Serviceについて正しい2つのステートメントはどれですか？ 2つ選択してください。）

- A. ブロックストレージよりも高いIOPSを提供します。
- B. コンピューティングインスタンスに直接接続または切り離すことができます。
- C. データは単一のADにのみ冗長に保存されます。
- D. データは複数のアベイラビリティドメイン (AD)に重複して保存されます。
- E. それは強い一貫性を提供します。

Answer: D,E (メッセージを残す)

説明

強力な一貫性読み取り要求が行われると、ObjectStorageは常にシステムに書き込まれたデータの最新のコピーを提供します。DURABILITYObjectStorageは地域サービスです。データは複数のストレージサーバーに冗長的に保存されます。Object Storageは、チェックサムを使用してデータの整合性をアクティブに監視し、破損したデータを自動的に検出して修復します。Object Storageは、データの冗長性を積極的に監視および保証します。冗長性の喪失が検出された場合、ObjectStorageは自動的にさらに多くのデータコピーを作成します。Object Storageの耐久性の詳細については、『Oracle Cloud Infrastructure Object Storage FAQ』を参照してください。カスタム・メタデータ独自の広範なメタデータを、あらゆる目的のキーと値のペアとして定義できます。たとえば、オブジェクトの説明タグを作成し、それらのタグを取得して、データを並べ替えることができます。Oracle Cloud Infrastructure CLIまたはSDKを使用して、カスタム・メタデータをオブジェクトおよびバケットに割り当てることができます。詳細については、ソフトウェア開発キットとコマンドラインインターフェイスを参照してください。ENCRYPTIONObjectStorageは、256ビットのAdvanced Encryption Standard (AES-256)を使用して、サーバー上のオブジェクトデータを暗号化します。各オブジェクトは、独自のキーで暗号化されます。データ暗号化キーは、頻繁にローテーションされるマスター暗号化キーで暗号化されます。暗号化はデフォルトで有効になっており、オフにすることはできません。

最新問題: 2

ベアメタルシェイプのデータベースクラウドサービス (DBCS)はどのスケーリングオプションを提供しますか？

- A. ネットワーク帯域幅
- B. CPU
- C. ストレージ
- D. メモリ

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明

参照 <https://docs.cloud.oracle.com/iaas/Content/Database/Tasks/managingDBsystem.htm>

最新問題: 3

他のOCIサービスに対してAPI呼び出しを行う必要がある開発コンパートメントで実行されているインスタンスがありますが、ユーザー資格情報を構成したり、インスタンスに構成ファイルを保存したりする必要はありません。この要件をどのように満たすことができますか？

- A. インスタンスを含めるための一致ルールを使用して動的グループを作成します
- B. インスタンスは他のOCIサービスを自動的に呼び出すことができます
- C. インスタンスは安全であり、他のOCIサービスを呼び出すことはできません
- D. 一致するルールを使用して動的グループを作成し、インスタンスを含めて、この動的グループのポリシーを記述します

Answer: D ([メッセージを残す](#))

説明

動的グループを使用すると、Oracle Cloud Infrastructureコンピュータインスタンスを「主要な」アクターとしてグループ化できます (ユーザーグループと同様)。

動的グループを作成するときは、メンバーをグループに明示的に追加するのではなく、代わりに一連の一致ルールを定義してグループメンバーを定義します。たとえば、特定のコンパートメント内のすべてのインスタンスが動的グループのメンバーであることをルールで指定できます。インスタンスがそのコンパートメントで起動および終了されると、メンバーは動的に変更できます。

動的グループには、テナントまたはコンパートメントのいずれかに動的グループのアクセス許可を与えるポリシーを少なくとも1つ作成するまで、アクセス許可はありません。ポリシーを作成するときに、一意の名前または動的グループのOCIDのいずれかを使用して動的グループを指定できます。前述のように、ポリシーで動的グループ名を指定した場合でも、IAMは内部でOCIDを使用して動的グループを決定します。

最新問題: 4

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)でファスト・スタート・フェイルオーバー (FSFO)を使用してセットアップされたデータ・ガードについて正しいことは何ですか？

- A. 高可用性と耐久性のベストプラクティスは、プライマリ、スタンバイ、およびオブザーバーを別々の可用性ドメイン (AD) で実行することです。
- B. OCIコンソールを使用してデータ・ガードを構成する場合、デフォルトのモードはmaxprotectionに設定されます。
- C. プライマリDBシステムとは別のADにスタンバイDBシステムを作成することはできません。
- D. データベースコマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して、FSFOでデータガードを設定することはできません。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

参照：

高可用性と耐久性のベストプラクティスは、プライマリ、スタンバイ、およびオブザーバーを別々の可用性ドメインで実行することです。オブザーバーは、特定のターゲットスタンバイデータベースにフェイルオーバーするかどうかを決定します

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Database/Tasks/usingDG.htm#ConfigureObserverOptional>

最新問題: 5

Oracle Cloud Identifiers (OCID) について正しい説明はどれですか。

- A. mytenancy.oc.ocidは有効なOCIDです。
- B. ユーザーは、コンパートメント内のすべてのリソースのOCIDをカスタマイズできます。
- C. ユーザーを削除し、同じ名前の新しいユーザーを作成した場合、OCIDが異なるため、そのユーザーは別のユーザーと見なされます。
- D. ユーザーを削除してから、同じ名前の新しいユーザーを作成すると、新しいユーザーには、システムが記憶しているのとまったく同じOCIDが割り当てられます。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

最新問題: 6

Oracle Cloud Infrastructure Load Balancingサービスに関して、バックエンド・セットに登録されているバックエンド・サーバーが接続をドレインするようにマークされている場合、どの2つのアクションが発生しますか？ (2つ選択してください。)

- A. このバックエンドサーバーへのすべての接続は、タイムアウト期間後に強制的に閉じられます。
- B. このバックエンドサーバーへのリクエストは、ユーザー定義のエラーページにリダイレクトされます。
- C. このバックエンドサーバーへの既存の接続はすべてすぐに閉じられます。
- D. このバックエンドサーバーへのすべての新しい接続は許可されていません。
- E. このバックエンドサーバーへの接続は、すべての処理中のリクエストが完了するまで開いたままになります。

Answer: D,E ([メッセージを残す](#))

説明

説明/参照 <https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Balance/Reference/sessionpersistence.htm>

最新問題: 7

Oracle Cloud Infrastructureに高可用性Webアプリケーションをデプロイしており、パブリック・ロード・バランサを使用することにしました。バックエンドWebサーバーは、3つの可用性ドメイン (AD)すべてに分散されます。

安全で可用性の高いアプリケーションを提供するには、サブネットをいくつ作成する必要がありますか？

- A. 合計3つのサブネット。各ADに1つのサブネット
- B. 合計5つのサブネット。1番目と2番目のADにそれぞれ2つのサブネットがあり、3番目のADに1つのサブネットがあります
- C. 合計4つのサブネット。Webサーバーの各ADに1つのサブネット、ロードバランサーの任意の1つのADに1つのサブネット
- D. 合計6つのサブネット。各ADに2つのサブネット。1つはロードバランサー用で、もう1つはWebサーバー用です。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 8

Oracle Cloud Infrastructure Container Engine for Kubernetes (OKE)では、レプリカセットは何をしますか？

- A. 常に実行されているレプリカポッドの安定したセットを維持します。
- B. 一連のポッドで実行されているアプリケーションを公開します。
- C. ポッドの宣言型更新を提供します。
- D. すべてのノードがポッドのコピーを実行することを保証します。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 9

米国東部地域で動作するアプリケーションがあります。このアプリは、データベースバックエンドを備えた3層アプリです。データベースの定期的なバックアップを、米国東部地域のOCI Object Storageに保存します。ビジネス継続性のために、OCI Object Storageのクロスリージョンコピー機能を利用して、データベースのバックアップを米国西部リージョンにコピーしています。要件を満たすために実行する必要がある次の3つのステップはどれですか？

- A. IAMポリシーを作成し、Object Storageサービスがユーザーに代わってオブジェクトを管理することを承認します
- B. 既存の宛先バケットを指定します
- C. ソースバケットと宛先バケットの両方のバケットの可視性を指定します
- D. 宛先オブジェクト名を指定します
- E. オブジェクトの一括コピーを選択するオプションを提供します

F. 上書きルールを選択します

Answer: A,B,F (メッセージを残す)

説明

オブジェクトを同じリージョン内の他のバケットおよび他のリージョン内のバケットにコピーできます。

オブジェクトのコピーを実行するときは、ソースバケットと宛先バケットの両方に必要なアクセス権が必要です。

また、ソースバケットと宛先バケットのオブジェクトを管理するための権限も必要です。

Object Storageは地域サービスであるため、ユーザーに代わってコピー操作を実行する各地域のObject Storageサービスを承認する必要があります。たとえば、米国東部 (Ashburn) 地域のオブジェクトストレージサービスに、ユーザーに代わってオブジェクトを管理する権限を与えることができます。Object Storageサービスを承認すると、US East (Ashburn) バケットに格納されているオブジェクトを別のリージョンのバケットにコピーできます。

上書きルールを使用して、エンティティタグ (ETag) 値に基づいてオブジェクトのコピーを制御できます。

コピー要求の既存のターゲットバケットを指定します。コピー操作では、バケットは自動的に作成されません。

最新問題: 10

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) ベアメタルおよび仮想マシンデータベースシステムでのDataGuardの実装について正しい説明はどれですか。

- A. 両方のデータベースシステムが同じコンパートメントにある必要があります。
- B. プライマリデータベースとスタンバイデータベースのバージョンとエディションは同一である必要はありません。
- C. プライマリデータベースとスタンバイデータベースは同じOCIリージョンに存在する必要があります。
- D. データベースシステムは同じ形状タイプである必要はありません。たとえば、プライマリデータベースは仮想マシン、スタンバイデータベースはベアメタル形状、またはその逆)。

Answer: A (メッセージを残す)

説明/参照 <https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Database/Tasks/exausingdataguard.htm>

最新問題: 11

ピアリングできる仮想クラウドネットワーク (VCN)を一覧表示するオプションはどれですか？

- A. VCN A (10.0.0.0/16) およびVCN B (10.0.16.0/24)
- B. VCN A (172.16.0.0/24) およびVCN B (172.16.0.0/28)
- C. VCN A (10.0.2.0/16) およびVCN B (10.0.2.0 / 25)
- D. VCN A (10.0.0.0/16) およびVCN B (10.1.0.0/16)

Answer: D (メッセージを残す)

最新問題: 12

サーバー側の暗号化に対するOracleCloudInfrastructure (OCI)オブジェクトストレージのサポートについて正しい説明はどれですか。

- A. OCIオブジェクトストレージにアップロードするときに、各オブジェクトのサーバー側暗号化を手動で有効にする必要があります
- B. オブジェクトは、オブジェクトストレージにアップロードされ、取得時に復号化されるため、自動的に暗号化されます
- C. OCIオブジェクトストレージから取得する場合は、データを手動で復号化する必要があります
- D. オブジェクトデータのみが暗号化され、オブジェクトに関連付けられているユーザー定義のメタデータは暗号化されません

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明

参照 <https://www.oracle.com/cloud/storage/object-storage-faq.html>

-Oracle Object Storageは、サーバー側の暗号化をサポートしています。OracleObjectStorageに格納されているすべてのデータは自動的に暗号化されます

-暗号化はすべてのデータに対して自動的に有効になり、顧客側でのアクションは不要です。

-Oracleは、オブジェクトデータとオブジェクトに関連付けられたユーザー定義のメタデータの両方を暗号化します。

最新問題: 13

DBシステムについて正しい説明はどれですか。

- A. 自動バックアップスケジュールと保存期間を完全に制御できます。
- B. Oracleデータベースの初期化パラメータをグローバルレベルで管理できます。
- C. Data Guard as aServiceはリージョン間で提供されます。
- D. データベースをsys / sysdbaとして管理することはできません。

Answer: A,D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 14

あなたは、Oracle Cloud Infrastructure (OCI)で実行されているアプリケーションのネットワークアーキテクトです。セキュリティチームから、バックエンドWebサーバーの1つにすぐに適用する必要があるセキュリティパッチについて通知されました。OCIロードバランサーがメンテナンス中にこのバックエンドサーバーにトラフィックを転送しないようにするには、どうすればよいですか？

- A. このバックエンドサーバーへの既存の接続をすべて排出し、バックエンドWebサーバーをオフラインとしてマークします
- B. アクティブでトラフィックを処理するバックエンドWebサーバー用に別のOCIロードバランサーを作成します
- C. サブネットに関連付けられているセキュリティリストを編集して、このバックエンドサーバーへのトラフィック接続を回避します

D. メンテナンスのためにロードバランサーを停止し、メンテナンスが終了したらロードバランサーを再起動します

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

ロードバランサーは、リソース使用率を改善し、スケーリングを容易にし、高可用性を確保するのに役立ちます。複数の負荷分散ポリシーとアプリケーション固有のヘルスチェックを構成して、ロードバランサーがトラフィックを正常なインスタンスにのみ転送するようにすることができます。ロードバランサーは、メンテナンスのためにサービスから削除する前に、異常なアプリケーションサーバーからトラフィックを排出することにより、メンテナンスウィンドウを短縮できます。

負荷分散サービスは、既存の永続化されたセッションで使用可能なドレインとマークされたサーバーを考慮します。既存の永続化されたセッションの一部ではない新しい要求は、そのサーバーに送信されません。

ドレイン状態の編集 :ドレイン状態を変更できるダイアログボックスを開きます。

サーバーのドレインステータスをtrueに設定すると、ロードバランサーはこのバックエンドサーバーへの新しいTCP接続と新しい非スティッキーHTTP要求の転送を停止します。

この設定により、管理者はメンテナンスの目的でサーバーをローテーションから外すことができます。

e. オフライン状態の編集 :オフラインステータスを変更できるダイアログボックスを開きます。サーバーのオフラインステータスをtrueに設定すると、負荷分散はこのバックエンドサーバーに入力トラフィックを転送しません。

最新問題: 15

File Storage Service (FSS)によってプロビジョニングされた共有ボリュームの損失が原因で、アプリケーションが停止しました。この時点で、FSSで作成したスナップショットからデータを復元する必要があります。

データを復元する手順は何ですか？

A. OCIコンソールを開き、[ファイルストレージサービス]を選択し、共有ストレージを見つけて、[スナップショット]をクリックして復元します。

B. OCIコンソールを開き、[ファイルストレージサービス]を選択し、作成したスナップショットを見つけて、[復元]をクリックします。

C. 共有ボリュームをマウントしたディレクトリにアクセスし、.snapshotフォルダーにcdして、回復するスナップショットフォルダーを見つけ、そのフォルダーの名前を元のフォルダー名に変更します。

D. 共有ボリュームがマウントされているディレクトリにアクセスし、.snapshotフォルダーにcdして、回復するスナップショットフォルダーを見つけ、cpまたはrsyncツールを使用してファイルを元の場所にコピーします。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 16

会社は現在、IDプロバイダーとしてMicrosoftActiveDirectoryを使用しています。同社は最近、テストおよび開発操作にクラウドプラットフォームを活用するためにOracle Cloud Infrastructure (OCI)を購入しました。管理者は、開発者がOCIアカウントでリソースの作成を開始できるように、開発者のみにアクセス権を与えるという任務を負っています。

この要件を達成するためにどのステップを実行しますか？

- A. OCIで開発者用のグループを作成し、フェデレーションプロセス中にそのグループをMicrosoftActiveDirectoryの同様のグループにマップします。
- B. すべてのMicrosoft Active DirectoryグループをOCIと統合して、ユーザーが既存の資格情報を使用できるようにします。
- C. ユーザーごとに新しいユーザーアカウントを作成してから、開発者にアクセスを提供するポリシーを作成します。
- D. OCIで開発者用のグループを作成し、Microsoft Active Directoryからすべての開発者をエクスポートしてから、それらをIdentity and Access Management (IAM)グループにインポートします。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

有効な **1Z0-1072-20** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1Z0-1072-20 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1Z0-1072-20** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1Z0-1072-20 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1Z0-1072-20 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Oracle/1Z0-1072-20-mondaishu.html> (**24030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード:

Freepdfdumps)

最新問題: 17

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)でLinuxコンピューティングインスタンスの自動スケーリング構成を作成します。アプリケーションの実行速度が遅いことに気づきました。

コンピューティングインスタンスを確認した後、既存のコンピューティングインスタンスのメモリ使用量がすでに多い場合でも、自動スケーリングで追加のインスタンスが起動されていないことに気づきました。

この問題をどのように解決できますか？

- A. スケーリングポリシーを変更して、メモリ使用量を監視し、しきい値に達したときにインスタンスの数をスケールアップします。
- B. すべてのコンピューティングインスタンスにOCI SDKをインストールし、メモリ使用量が多い場合に自動スケーリングイベントをトリガーするスクリプトを作成します。
- C. 自動スケーリンググループをトリガーするすべてのコンピューティングインスタンスにモニタリングエージェントをインストールします。
- D. スケーリングポリシーを変更して、CPU使用率を監視し、しきい値に達したときにインスタンスの数をスケールアップします。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 18

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) ロードバランサーが、均等に重み付けされたラウンドロビンポリシーを介してバックエンドWebサーバーにトラフィックを分散します。Webサーバーの1つが他のWebサーバーよりも多くのトラフィックを受信していることに気づきました。

これをどのように解決して、トラフィックがすべてのバックエンドWebサーバーに均等に分散されるようにすることができますか？

- A. バックエンドセットでCookieベースのセッション永続性を無効にします。
- B. ロードバランサーとバックエンドサーバー間のキープアライブ設定を変更します。
- C. バックエンドセットに関連付けられているSSL構成を無効にします。
- D. バックエンドWebサーバーごとに個別のリスナーを作成します。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

参照：

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Balance/Concepts/balanceoverview.htm>

最新問題: 19

OracleCloudInfrastructureのリージョナルリソースはどれですか。2つ選択してください。)

- A. 一時的なパブリックIP
- B. コンパートメント
- C. 画像を計算する
- D. 動的グループ
- E. ボリュームバックアップをブロックする

Answer: (解答を表示する)

説明/参照 <https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/General/Concepts/regions.htm>

最新問題: 20

Autonomous Transaction Processing (ATP)に関して正しい説明はどれですか？

- A. データベース名をAutonomous Data Warehouse (ADW)とATPデータベースの両方で同時に使用することはできません
- B. データベースを終了すると、データベース名をすぐに再利用できます
- C. ATPデータベースに対して最大8コアを有効にできます
- D. ATPデータベースに対して最大2TBのストレージを有効にできます

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

データベース名は、同じリージョン内のテナンシー内のすべてのAutonomousDataWarehouseおよびAutonomousDatabases間で一意である必要があります。

① Provisioning failed because a database named XXXXXXXXXX already exists in compartment adb_compartment. The name must be unique among all Autonomous Data Warehouses and Autonomous Databases in your tenancy in the same region. Specify a different database name and try again.

Autonomous Transaction Processingデータベースを終了すると、インスタンスが完全に削除され、すべての自動バックアップが削除されます。終了したデータベースをリカバリすることはできません。

Oracle Autonomous DatabaseでプロビジョニングできるCPUの最大数と最大ストレージ容量現在のリリースでは、クラウド・コンソールから最大128個のCPUと128TBをプロビジョニングできます。

より多くのリソースが必要なお客様は、Oracleアカウントチームに電話する必要があります

最新問題: 21

大企業のすべてのクラウドユーザーのアクセスを設定する責任があります。フェニックスリージョンにログインし、ユーザーとポリシーの作成を開始します。次に、一部のユーザーがAshburnリージョンでリソースを作成している可能性があることに気付きます。

それらのユーザーを有効にするには、どのステップを実行する必要がありますか？

- A. 特定の地域のユーザーを作成するには、各地域に個別にログインする必要があります。
- B. IAMユーザーはグローバルです。管理者は、Ashburnリージョンにサブスクライブしていることを確認してください。
- C. 作成時に各ユーザーにリージョンを割り当てることができます。
- D. IAMユーザーはグローバルであり、管理者以外のユーザーはデフォルトで任意のリージョンにリソースを追加できます。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 22

あなたの会社のクラウドアーキテクトは、Oracle Cloud Infrastructure (OCI)でハイパフォーマンス (HPC) クラスターを設計する任務を負っています。次の要件が定義されています。

*クラスターは最低3ノードである必要がありますが、必要に応じて6ノードに増やすことができます。

*クラスターは、潜在的なインフラストラクチャ障害に対して回復力がなければなりません。

*遅延を最小限に抑えるには、すべてのノードを同じ可用性ドメイン (AD) 内にデプロイする必要があります。

*クラスター内のノードの追加または交換には30分以内で完了します。

OCIでこれらの要件を満たすために実行する必要がある2つのステップはどれですか？ (2つ選択してください。)

A. ファイルストレージサービス (FSS)を活用する共有ファイルシステムを使用して、単一のADにクラスターを展開します。

別のADにスタンバイクラスターを展開し、同じ共有ファイルシステムを使用するように構成します。

B. クラスターを単一のADにデプロイします。各ノードを、そのADの3つの異なる障害ドメインの1つに配置します。

- C. HPCノードのコンピューティングインスタンスのブートボリュームのバックアップを作成します。バックアップから直接新しいコンピューティングインスタンスを起動すると、プロビジョニング時間が短縮されます。
- D. HPCノードコンピューティングインスタンスのカスタムイメージを作成します。このイメージを使用して新しいコンピューティングインスタンスを起動し、プロビジョニング時間を短縮します。
- E. クラスターを単一のADにデプロイします。各ノードを異なる仮想クラウドネットワーク (VCN) サブネットに配置します。

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

障害ドメインは、可用性ドメイン内のハードウェアとインフラストラクチャのグループです。各可用性ドメインには、3つの障害ドメインが含まれています。障害ドメインは非親和性を提供します。インスタンスを分散して、インスタンスが単一の可用性ドメイン内の同じ物理ハードウェア上にないようにします。1つの障害ドメインに影響を与えるハードウェア障害またはコンピューティングハードウェアメンテナンスイベントは、他の障害ドメインのインスタンスには影響しません。さらに、フォールトドメイン内の物理ハードウェアには独立した冗長電源があり、1つのフォールトドメイン内の電源ハードウェアの障害が他のフォールトドメインに影響を与えるのを防ぎます。

コンピューティングインスタンス、ベアメタルDBシステムインスタンス、または仮想マシンDBシステムインスタンスの配置を制御するために、オプションで、起動時に新しいインスタンスまたはインスタンスプールの障害ドメインを指定できます。障害ドメインを指定しない場合、システムが障害ドメインを選択します。Oracle Cloud Infrastructureは、アベイラビリティ・ドメインで利用可能な容量を最適化しながら、さまざまなフォールト・ドメイン間でベストエフォートのアンチアフィニティ配置を行います。インスタンスのフォールトドメインを変更するには、インスタンスを終了し、優先フォールトドメインで新しいインスタンスを起動します。

フォールトドメインを使用して、次のことを行います。

予期しないハードウェア障害または電源障害から保護します。

コンピューティングハードウェアのメンテナンスによる計画停止からの保護。

最新問題: 23

エフェメラルパブリックIPを使用してOracleCloudInfrastructureにWebサーバーをデプロイしました。Webサーバーの構成をいくつか変更した後、サーバーを再起動すると、新しいパブリックIPがインスタンスに関連付けられました。

これが再び起こらないようにするにはどうすればよいですか？

- A. 予約済みのパブリックIPを作成し、それを完全なインスタンスが使用しているセキュリティリストに関連付けます
- B. 予約済みのパブリックIPを作成し、それをコンピューティングインスタンスのサブネットに関連付けます

C. 予約済みのパブリックIPを作成し、それをコンピューティングインスタンスのVNICに関連付けます

D. 予約済みのパブリックIPを作成し、それをWebサーバーのhostsファイルに関連付けます

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

パブリックIPアドレスは、インターネットから到達可能なIPv4アドレスです。テナンシー内のリソースにインターネットから直接アクセスできる必要がある場合は、パブリックIPアドレスが必要です。リソースのタイプによっては、他の要件がある場合があります。

パブリックIPには次の2つのタイプがあります。

エフェメラル :インスタンスの存続期間中、一時的で存在していると考えてください。

予約済み : 割り当てられたインスタンスの存続期間を超えて永続的かつ存在していると考えてください。割り当てを解除してから、いつでも別のインスタンスに再割り当てできます。例外 :パブリックロードバランサーで予約されたパブリックIP。

プールに新しい予約済みパブリックIPを作成するには

予約済みのパブリックIPを作成するリージョンとコンパートメントを表示していることを確認します。

ナビゲーションメニューを開きます。[コアインフラストラクチャ]で、[ネットワーク]に移動し、[パブリックIP]をクリックします。

[予約済みパブリックIPの作成]をクリックします。

次のように入力します：

名前：予約されたパブリックIPのオプションのフレンドリ名。名前は一意である必要はなく、後で変更できます。機密情報の入力は避けてください。

コンパートメント :そのままにしておきます。

タグ :オプションで、タグを適用できます。リソースを作成する権限がある場合は、そのリソースに自由形式のタグを適用する権限もあります。定義されたタグを適用するには、タグ名前空間を使用するための権限が必要です。タグ付けの詳細については、「リソースタグ」を参照してください。タグを適用する必要があるかどうかわからない場合は、このオプションをスキップするか（後でタグを適用できます）、管理者に問い合わせてください。

[予約済みパブリックIPの作成]をクリックします。

予約済みのパブリックIPをプライベートIPに割り当てるには

前提条件 :プライベートIPには、エフェメラルIPまたは予約済みのパブリックIPがすでに割り当てられている必要があります。含まれている場合は、最初に一時的なパブリックIPを削除するか、予約済みのパブリックIPの割り当てを解除します。

関心のあるプライベートIPを持つインスタンスを含むコンパートメントを表示していることを確認します。

ナビゲーションメニューを開きます。[コアインフラストラクチャ]で、[コンピューティング]に移動し、[インスタンス]をクリックします。

インスタンスをクリックして詳細を表示します。

[リソース]で、[接続されたVNIC]をクリックします。

インスタンスに接続されているプライマリVNICとセカンダリVNICが表示されます。
関心のあるVNICをクリックします。
[リソース]で、[IPアドレス]をクリックします。
VNICのプライマリプライベートIPとセカンダリプライベートIPが表示されます。
関心のあるプライベートIPについては、[アクション]アイコン (3つのドット) をクリックしてから、[編集]をクリックします。
[パブリックIPアドレス]セクションの[パブリックIPタイプ]で、[予約済みパブリックIP]のラジオボタンを選択します。
次のように入力します：
コンパートメント： 割り当てる予約済みのパブリックIPを含むコンパートメント。
予約済みパブリックIP： 割り当てる予約済みパブリックIP。3つの選択肢があります。
新しい予約済みパブリックIPを作成します。オプションで、わかりやすい名前を付けることができます。名前は一意である必要はなく、後で変更できます。機密情報の入力は避けてください。
現在割り当てられていない予約済みのパブリックIPを割り当てます。
予約済みのパブリックIPを別のプライベートIPから移動します。
[更新]をクリックします。

最新問題: 24

OracleCloudInfrastructureにデプロイされた2つの仮想マシンDBシステム間でOracleDataGuardが (コンソールを使用して) 構成されている場合、正しい2つのステートメントはどれですか。 2つ選択してください。)

- A. プライマリは1ノードのRAC DBシステムであり、スタンバイは2ノードのRACDBシステムです。
- B. プライマリは2ノードのRAC DBシステムであり、スタンバイは2ノードのRACDBシステムです。
- C. プライマリは1ノードのRAC DBシステムであり、スタンバイは1ノードのRACDBシステムです。
- D. プライマリは2ノードのRAC DBシステムであり、スタンバイは1ノードのRACDBシステムです。
- E. プライマリはベアメタルDBシステムであり、スタンバイは1ノードのRACDBシステムです。

Answer: A,C (メッセージを残す)

参照：

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Database/Concepts/overview.htm>

最新問題: 25

VCNIにパブリックサブネットを作成しました。パブリックサブネットには、ルートテーブル、セキュリティリスト、およびインターネットゲートウェイがあります。ただし、どのコンピューティングインスタンスもインターネットに接続できません。
接続の問題の考えられる理由はどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. VCNに関連付けられたDynamic Routing Gateway (DRG)はありません。
- B. ルートテーブルには、インターネットゲートウェイにトラフィックをルーティングするためのデフォルトルートがありません。
- C. パブリックサブネットに関連付けられたセキュリティリストにステートフル入カールールはありません。
- D. パブリックサブネットに関連付けられたセキュリティリストにステートフル出カールールはありません。

Answer: B,D (メッセージを残す)

説明

VCNのエッジをインターネットに接続するオプションの仮想ルーターとしてのインターネットゲートウェイ。ゲートウェイを使用するには、接続の両端のホストにルーティング用のパブリックIPアドレスが必要です。VCNで発生し、パブリックIPアドレス (VCNの内部または外部)を宛先とする接続は、インターネットゲートウェイを経由します。VCNの外部から発信され、VCN内のパブリックIPアドレス宛ての接続は、インターネットゲートウェイを経由します。

インターネットゲートウェイの操作

特定のVCNのコンテキストでインターネットゲートウェイを作成します。つまり、インターネットゲートウェイは自動的にVCNに接続されます。ただし、インターネットゲートウェイはいつでも無効にしてから再度有効にすることができます。

これを、特定のVCNに接続するスタンドアロンオブジェクトとして作成する動的ルーティングゲートウェイ (DRG)と比較してください。DRGは、VCNをオンプレミスネットワークにプライベートに接続するためのモジュラービルディングブロックであることが意図されているため、異なるモデルを使用します。

トラフィックがサブネットとインターネットゲートウェイの間を流れるようにするには、サブネットのルートテーブルにそれに応じてルートルールを作成する必要があります。たとえば、宛先CIDR = 0.0.0.0/0およびターゲット=インターネットゲートウェイ)。インターネットゲートウェイが無効になっている場合、そのトラフィックを有効にするルートルールがある場合でも、インターネットとの間でトラフィックが流れないことを意味します。詳細については、ルートテーブルを参照してください。

アクセス制御の目的で、インターネットゲートウェイを配置するコンパートメントを指定する必要があります。使用するコンパートメントがわからない場合は、インターネットゲートウェイをクラウドネットワークと同じコンパートメントに配置してください。詳細については、アクセス制御を参照してください。

オプションで、インターネットゲートウェイにフレンドリ名を割り当てることができます。一意である必要はなく、後で変更できます。Oracleは、インターネットゲートウェイにOracle Cloud ID (OCID)と呼ばれる一意の識別子を自動的に割り当てます。詳細については、「リソース識別子」を参照してください。

インターネットゲートウェイを削除するために、それを無効にする必要はありませんが、それをターゲットとしてリストするルートテーブルがあってはなりません。

コンピューティングインスタンスごとのASはインターネットに接続できるため、入力を使用せずに出力を使用します

最新問題: 26

Oracle Cloud Infrastructure File Storage Service Mount Targetについて正しい説明はどれですか？

- A. 単一のマウントターゲットを介して複数のファイルシステムにアクセスできます
- B. マウントターゲットにはパブリックIPアドレスとDNS名があります
- C. マウントターゲットは選択した単一のサブネットに存在しますが、高可用性ではありません
- D. 各マウントターゲットが機能するには、サブネット内に6つの内部IPアドレスが必要です

Answer: A ([メッセージを残す](#))

マウントターゲットは、選択したVCNサブネットに存在し、ファイルシステムにネットワークアクセスを提供するNFSエンドポイントです。マウントターゲットは、ファイルシステムをマウントするための一意のエクスポートパスとともに使用されるIPアドレスまたはDNS名を提供します。単一のマウントターゲットで多くのファイルシステムをエクスポートできます。通常、最初のマウントターゲットを作成し、最初のファイルシステムを作成するときにエクスポートします。マウントターゲットは、関連するファイルシステムのすべてのエクスポートを含むエクスポートセットを維持します。

制限と考慮事項

各可用性ドメインは、デフォルトで2つのマウントターゲットに制限されています。ただし、各マウントターゲットを介して最大100個のファイルシステムをエクスポートできます。

適用可能な制限のリストと制限の引き上げを要求する手順については、サービス制限を参照してください。

各マウントターゲットが機能するには、サブネット内に3つの内部IPアドレスが必要です。マウントターゲットの作成中に、2つのIPアドレスが使用されます。3番目のIPアドレスは、マウントターゲットが高可用性フェイルオーバーに使用できるように使用可能なままである必要があります。ファイルストレージサービスは、高可用性フェイルオーバーに必要な3番目のIPアドレスを「予約」しません。サブネットとファイルシステムを設計するときは、マウントターゲットで十分なIPアドレスを使用できるように注意してください。

最新問題: 27

新しい従業員があなたの会社で働き始めたところです。この従業員のOracleCloudInfrastructure ユーザー アカウントを作成すると、その後ログインできますが、リソースを作成することはできません。

これを解決するにはどうすればよいですか？

- A. アカウントを削除して、別のアカウントを作成します。
- B. ログインするために従業員API署名キーを送信します。
- C. 従業員が企業ネットワークからのみOracleCloudInfrastructureアカウントにログインしていることを確認してください。

D. 関連するリソースへのアクセスを許可するポリシーを持つグループに従業員を追加します。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 28

Autonomous Data Warehouse (ADW) データベースのtnsnames.oraはどこにありますか？

A. tnsnames.oraは、Oracle CloudInfrastructureWebコンソールのADW詳細ページからダウンロードできます。

B. tnsnames.oraファイルは、ADWのサービスコンソールからダウンロードしたcredentials.zipファイルに含まれています。

C. ADWデータベースは、tnsnames.oraファイルをオブジェクトストレージバケットに配置します

D. ADWデータベースの作成時に、tnsnames.oraファイルをダウンロードするように自動的に求められます

Answer: B ([メッセージを残す](#))

<https://docs.oracle.com/en/cloud/paas/autonomous-data-warehouse-cloud/user/connect-introduction.html#GUID-CD4C10A6-1C1E-4969-8F67-1433B6CE626AAutonomous>からクライアント資格情報をダウンロードするにはトランザクション処理サービスコンソール：

-サービスコンソールから、[管理]リンクをクリックします。

-[クライアント資格情報のダウンロード ウォレット]]をクリックします。

-[クライアント資格情報のダウンロード ウォレット]]ページで、[パスワード]フィールドにウォレットのパスワードを入力し、[パスワードの確認]フィールドでパスワードを確認します。パスワードは8文字以上で、1文字以上、数字1文字または特殊文字1文字を含める必要があります。このパスワードは、ダウンロードされたクライアント資格情報ウォレットを保護します。

-[ダウンロード]をクリックして、クライアントのセキュリティ資格情報のzipファイルを保存します。デフォルトのファイル名はWallet_databasename.zipです。このファイルは任意のファイル名で保存できます。不正なデータベースアクセスを防ぐために、このファイルを保護する必要があります。

zipファイルには次のものが含まれています。

tnsnames.oraおよびsqlnet.ora：接続記述子とSQL*Netクライアント側構成を格納するネットワーク構成ファイル。

cwallet.ssoおよびewallet.p12 :SSOウォレットとPKCS12ファイルを自動オープンします。

PKCS12ファイルは、UIで提供されるウォレットパスワードによって保護されています。

keystore.jksおよびtruststore.jks :Javaキーストアおよびトラストストアファイル。それらは、ウォレットのダウンロード中に提供されたウォレットパスワードによって保護されます。

ojdbc.properties :JDBC接続に必要なウォレット関連の接続プロパティが含まれています。これは、tnsnames.oraと同じパスにある必要があります。

最新問題: 29

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) DB SystemsDataGuardサービスについて正しい2つのステートメントはどれですか。

- A. 両方のDBシステムが同じVCNを使用し、ポート1521が開いている必要があります
- B. OCIでのデータガード構成は仮想マシンのみに制限されます
- C. ベアメタルシェイプのデータガードの実装には、2つのDBシステムが必要です。1つはプライマリデータベースを含み、もう1つはスタンバイデータベースを含みます。
- D. Data Guardの実装には、2つのDBシステムが必要です。1つは仮想マシンでプライマリデータベースを実行し、スタンバイデータベースはベアメタルで実行します。

Answer: A,C ([メッセージを残す](#))

説明

Oracle Data Guardの実装には、2つのDBシステムが必要です。1つはプライマリ データベースを含み、もう1つはスタンバイ データベースを含みます。仮想マシンのDBシステム データベースに対してOracle Data Guardを有効にすると、スタンバイ データベースを備えた新しいDBシステムが作成され、プライマリ データベースに関連付けられます。ベアメタルDBシステムの場合、Oracle Data Guardを有効にする前に、スタンバイとして使用するデータベースを備えたDBシステムがすでに存在している必要があります。

要件の詳細は次のとおりです。

- 両方のDBシステムが同じコンパートメントにある必要があります。
- DBシステムは同じ形状タイプである必要があります たとえば、プライマリデータベースの形状が仮想マシンの場合、スタンバイデータベースの形状は他の仮想マシンの形状にすることができます)。
- プライマリデータベースとスタンバイデータベースが異なるリージョンにある場合は、データベースごとに仮想クラウドネットワーク (VCN)をピアリングする必要があります。
- Oracle Data Guardアソシエーションの両方のDBシステムのサブネットのセキュリティ リストの入力および出カールールを構成して、TCPトラフィックが該当するポート間を移動できるようにします。作成するルールがステートフル (デフォルト)であることを確認してください。

最新問題: 30

あなたの会社は、いくつかのアプリケーションをOracle Cloud Infrastructure (OCI)に移行することを決定し、クラウドベースのディザスタリカバリ (DR)ソリューションを設計するように依頼されました。要件の1つは、DRリソースをホームOCIリージョンから少なくとも300マイル離れた場所に配置し、ネットワーク遅延を最小限に抑えることです。

推奨される展開は何ですか？

- A. 本番アプリケーションとDRアプリケーションを同じVCNにデプロイします。1つのADに本番サブネットを作成し、別のADにDRサブネットを作成します。
- B. 本番アプリケーションとDRアプリケーションをホームリージョン内の異なる可用性ドメイン (AD)の2つの別々のVCNに展開し、接続にVCNリモートピアリング接続を使用します。
- C. 本番アプリケーションとDRアプリケーションをそれぞれ異なるリージョンにある2つの別々のVCNにデプロイします。VCNリモートピアリング接続を使用してそれらを接続します。

D. 本番アプリケーションとDRアプリケーションをそれぞれ異なるリージョンにある2つの別々の仮想クラウドネットワーク (VCN)に展開し、接続にVCNローカルピアリングゲートウェイを使用します。

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

リモートVCNピアリングは、異なるリージョンにある2つのVCNを接続するプロセスです。ピアリングにより、インターネットやオンプレミスネットワークを介してトラフィックをルーティングすることなく、プライベートIPアドレスを使用してVCNのリソースが通信できるようになります。

最新問題: 31

Oracle CloudInfrastructureCLIでサポートされていないサービスはどれですか。

- A. ロードバランサー
- B. 計算
- C. データベース
- D. ブロックボリューム

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

参照 <https://docs.cloud.oracle.com/iaas/Content/API/Concepts/cliconcepts.htm#services>

有効な 1Z0-1072-20 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1Z0-1072-20 試験問題集！ GoShiken.com が最新の 1Z0-1072-20 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1Z0-1072-20 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1Z0-1072-20 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Oracle/1Z0-1072-20-mondaishu.html> (24030%OFF問題集溶と正解付きで 30%w特別割引コード:

Freepdfdumps)

最新問題: 32

米国中に5つの異なる会社の場所があります。概念実証 (POC)の場合、企業のすべての場所から Oracle Cloud Infrastructure Ashburnリージョンの単一の仮想クラウドネットワーク (VCN)で実行されているワークロードへの安全で暗号化された接続をセットアップする必要があります。この要件を満たすものは何ですか？

- A. VCNに5つのインターネットゲートウェイを作成し、インターネットゲートウェイごとに個別のルートテーブルを用意します。
- B. 会社の場所ごとにFastConnectを使用して5つの仮想回線を作成し、それらの接続を単一の動的ルーティングゲートウェイ (DRG)で終了します。そのDRGをVCNに接続します。
- C. 会社の場所ごとに5つのIPsec接続を作成し、それらの接続を1つのDRGで終了します。そのDRGをVCNに接続します。

D. 会社の場所ごとに5つのIPsec VPN接続を作成し、それらの接続を5つの別々のDRGで終了します。それらのDRGをVCNに接続します。

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

説明

オンプレミスネットワークへのアクセス

オンプレミスネットワークをOracleCloudInfrastructureに接続する方法は2つあります。

VPN Connect : 作成してVCNに接続するDRGを介して、既存のネットワークのエッジとVCNの間に複数のIPSecトンネルを提供します。

Oracle Cloud Infrastructure FastConnect : 既存のネットワークのエッジと

OracleCloudInfrastructure間のプライベート接続を提供します。トラフィックはインターネットを通過しません。プライベートピアリングとパブリックピアリングの両方がサポートされています。つまり、オンプレミスのホストは、VCNのプライベートIPv4アドレスと、Oracle Cloud Infrastructureの地域のパブリックIPv4アドレス (たとえば、VCNのオブジェクトストレージやパブリックロードバランサー)にアクセスできます。

上記の接続の一方または両方のタイプを使用できます。両方を使用する場合は、同時に使用することも、冗長構成で使用することもできます。これらの接続は、作成してVCNに接続する単一のDRGを介してVCNに接続されます。そのDRG接続とDRGのルートルールがないと、トラフィックはVCNとオンプレミスネットワークの間を流れません。いつでも、DRGをVCNから切り離すことができますが、残りの接続を形成する残りのすべてのコンポーネントを維持します。その後、DRGを再度接続するか、別のVCNに接続することができます。

最新問題: 33

ユーザーに既存のコンパートメントへのアクセスを提供するにはどうすればよいですか？

- A. コンパートメントの作成時にユーザーにコンパートメントへのアクセスを許可する
- B. ユーザーをグループに追加し、コンパートメントへのグループアクセスを提供するポリシーを定義する
- C. ユーザーをコンパートメントに追加します。コンパートメント内のすべてのユーザーは、コンパートメント内のオブジェクトにアクセスできます。
- D. ユーザーの作成時にユーザーに直接アクセスを許可する

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明

ポリシーは、会社が所有するOracleCloudInfrastructureリソースに誰がどのようにアクセスできるかを指定するドキュメントです。ポリシーにより、グループは特定のコンパートメント内の特定の種類のリソースを特定の方法で操作できます。一般に、組織のIAM管理者が従う必要のあるプロセスは次のとおりです。

組織のクラウドリソースを保持するために、ユーザー、グループ、および1つ以上のコンパートメントを定義します。

それぞれがポリシー言語で記述された1つ以上のポリシーを作成します。

作業する必要があるコンパートメントとリソースに応じて、ユーザーを適切なグループに配置します。

コンソールにアクセスしてコンパートメントを操作するために必要なワンタイムパスワードをユーザーに提供します。詳細については、

最新問題: 34

あなたの会社は、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Object Storageサービスを使用して、大規模なデータセットをデータサイエンスチームと共有しています。データサイエンスチームは、ワシントンDCと東京のオフィスで働く20人で構成されています。これらのオフィスで作業している間、従業員にはパブリックIP範囲129.146.31.0/27のIPアドレスが割り当てられます。このシナリオで使用されるオブジェクトストレージバケットにこれらのオフィスの場所からのみアクセスできるようにするには、どの2つの手順を実行する必要がありますか。2つ選択してください。)

- A. CIDRブロックが129.146.31.0/27のCorpNetworkという名前のネットワークソースを作成します
- B. バケットの可視性を公開に設定し、URLをデータサイエンスチームとメールでのみ共有します
- C. データセットごとに事前認証されたリクエストを作成し、メールでのみデータサイエンスチームと共有します
- D. request.region=の条件ステートメントを含むIAMポリシーを記述します
129.146.31.0 / 27
- E. request.networkSource.name=CorpNetである条件ステートメントを含むIAMポリシーを記述します
- F. CIDRブロックが129.146.0.0/16のCorpNetworkという名前のネットワークソースを作成します

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 35

Oracle Cloud Infrastructure USEastリージョンのプライベートサブネットではOracleデータベースを実行するコンピューティングインスタンスを起動しました。また、同じリージョンのOCIオブジェクトストレージにデータファイルをバックアップするためのサービスゲートウェイも作成しました。プライベートサブネットに関連付けられているセキュリティリストを変更して、Service Gatewayへのトラフィックを許可しましたが、インスタンスは引き続きOCI Object Storageにアクセスできません。この問題をどのように解決できますか？

- A. プライベートサブネットに関連付けられたセキュリティリストの001 Object Storageへの入力HTTPS (ポート443) トラフィックを有効にするステートフルルールを追加します
- B. プライベートサブネットに関連付けられたセキュリティリストのOCI Object Storageへの出力HTTPS (ポート443) トラフィックを有効にするステートフルルールを追加します
- C. ターゲットタイプが「ServiceGateway」で宛先サービスがOracle ServiceNetworkのすべてのIADサービスであるプライベートサブネットに関連付けられたルートテーブルにルールを追加します。
- D. OCIオブジェクトストレージ用にポートが開いているデフォルトのセキュリティリストを使用します

Answer: (解答を表示する)

説明

サービスゲートウェイを使用すると、仮想クラウドネットワーク (VCN) は、データをパブリックインターネットに公開することなく、特定のOracleサービスにプライベートにアクセスできます。これらの特定のサービスに到達するためにインターネットゲートウェイやNATは必要ありません。VCNのリソースはプライベートサブネットにあり、プライベートIPアドレスのみを使用できます。VCNからOracleサービスへのトラフィックは、Oracleネットワークファブリックを通過し、インターネットを通過することはありません。

サービスゲートウェイはリージョナルであり、VCNと同じリージョンでサポートされているOracleサービスにのみアクセスできます。

トラフィックをVCNのサブネットからサービスゲートウェイにルーティングするには、サブネットのルートテーブルに応じてルールを追加する必要があります。ルールは、ターゲットとしてサービスゲートウェイを使用する必要があります。宛先には、サービスゲートウェイで有効になっているサービスCIDRラベルを使用する必要があります。これは、時間の経過とともに変化する可能性のある特定のパブリックCIDRを知る必要がないことを意味します。

最新問題: 36

Oracle Cloud Infrastructure Object Storageの事前認証されたリクエストに関して正しい説明は次のうちどれですか。

- A. 「アーカイブ」ストレージ層の事前認証されたリクエストを作成することはできません
- B. バケットの可視性を変更しても、既存の事前認証されたリクエストは変更されません
- C. バケットに対して事前認証されたリクエストを作成することはできませんが、オブジェクトに対してのみ作成できます
- D. 事前認証されたリクエストには有効期限がありません

Answer: B (メッセージを残す)

説明

事前認証されたリクエストは、リクエストの作成者がそれらのオブジェクトにアクセスする権限を持っている限り、ユーザーが自分の資格情報を持たずにバケットまたはオブジェクトにアクセスできるようにする方法を提供します。たとえば、APIキーを所有せずに、オペレーションがユーザーのバックアップをバケットにアップロードできるようにするリクエストを作成できます。または、APIキーを所有せずに、ビジネスパートナーがバケット内の共有データを更新できるようにするリクエストを作成できます。

事前認証されたリクエストを作成すると、一意のURLが生成されます。このURLを指定すると、curlやwgetなどの標準のHTTPツールを使用して、事前認証されたリクエストで識別されたオブジェクトストレージリソースにアクセスできます。

事前認証されたリクエストに関する次の範囲と制約を理解します。

ユーザーはバケットの内容を一覧表示できません。

事前認証されたリクエストを無制限に作成できます。

設定できる有効期限に時間制限はありません。

事前認証されたリクエストを編集することはできません。要件の変更に応じてユーザーアクセスオプションを変更する場合は、事前に認証された新しい要求を作成する必要があります。

事前認証されたリクエストのターゲットとアクションは、作成者の権限に基づいています。ただし、リクエストは作成者のアカウントのログイン資格情報にバインドされていません。作成者のログイン資格情報が変更されても、事前認証された要求は影響を受けません。

そのバケットまたはそのバケット内のオブジェクトに関連付けられた事前認証された要求を持つバケットを削除することはできません。

パブリックアクセスに関する次の範囲と制約を理解します。

アクセスの種類の変更は双方向です。バケットのアクセスをパブリックからプライベートに、またはプライベートからパブリックに変更できます。

アクセスのタイプを変更しても、既存の事前認証されたリクエストには影響しません。既存の事前認証されたリクエストは引き続き機能します。

最新問題: 37

Oracle Cloud Infrastructureに高可用性Webアプリケーションをデプロイしており、パブリック・ロード・バランサーを使用することにしました。バックエンドWebサーバーは、3つの可用性ドメイン (AD)すべてに分散されます。

安全で可用性の高いアプリケーションを提供するには、サブネットをいくつ作成する必要がありますか？

- A. 合計2つのサブネット。バックエンドWebサーバーをホストするための1つのリージョナルプライベートサブネットと、パブリックロードロードバランサーをホストするための1つのリージョナルパブリックサブネット。
- B. 合計2つのサブネット。バックエンドWebサーバーをホストするための1つのリージョナルパブリックサブネットと、パブリックロードロードバランサーをホストするための1つのリージョナルプライベートサブネット。
- C. 合計3つのサブネット。バックエンドWebサーバーをホストする1つのリージョナルパブリックサブネットと、プライベートロードロードバランサーをホストする2つのAD固有のプライベートサブネット。
- D. 合計1つのサブネット。バックエンドWebサーバーとパブリックロードバランサーをホストする1つの地域プライベートサブネット。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

インターネットからのトラフィックを受け入れるには、パブリックロードバランサーを作成します。サービスは、着信トラフィックのエントリポイントとして機能するパブリックIPアドレスを割り当てます。パブリックIPアドレスは、任意のDNSベンダーを介してわかりやすいDNS名に関連付けることができます。

パブリックロードバランサーは地域的な範囲です。リージョンに複数のアベイラビリティードメインが含まれている場合、パブリックロードバランサーには、リージョナルサブネット（推奨または2つのアベイラビリティードメイン固有 AD固有）のサブネットが必要です。リージョナルサブネットを使用すると、ロードバランシングサービスは、プライマリロードバランサーとスタン

バイロードバランサーをそれぞれ異なるアベイラビリティードメインに作成し、アベイラビリティードメインの停止中もアクセスできるようにします。2つのAD固有のサブネットにロードバランサーを作成する場合、一方のサブネットはプライマリロードバランサーをホストし、もう一方のサブネットはスタンバイロードバランサーをホストします。プライマリロードバランサーに障害が発生した場合、パブリックIPアドレスはセカンダリロードバランサーに切り替わります。このサービスは2つのロードバランサーを同等として扱い、どちらが「プライマリ」であるかを指定することはできません。

地域サブネットとAD固有のサブネットのどちらを使用する場合でも、各ロードバランサーにはホストサブネットからのプライベートIPアドレスが1つ必要です。負荷分散サービスは、フローティングパブリックIPアドレスをプライマリロードバランサーに提供します。フローティングパブリックIPアドレスは、バックエンドサブネットからのものではありません。

パブリックロードバランサーにプライベートサブネットを指定することはできません。

バックエンドセットに関連付けられたバックエンドサーバー（コンピュートインスタンス）は、関連付けられたネットワークセキュリティグループ（NSG）、セキュリティリスト、およびルートテーブルが目的のトラフィックフローを許可する限り、どこにでも存在できます。

地域サブネットにロードバランサーを作成することをお勧めします。

リージョン内のすべての可用性ドメインにバックエンドサーバーを分散させることをお勧めします。

最新問題: 38

Terraformは、インフラストラクチャリソースを作成、管理、および操作するために何を使用しますか？

- A. リソース
- B. プロビジョナー
- C. インスタンス
- D. プロバイダー

Answer: D ([メッセージを残す](#))

説明

Oracle Cloud Infrastructureプロバイダーは、Oracle CloudInfrastructureによってサポートされる多くのリソースと対話するために使用されます。プロバイダーは、OracleCloudInfrastructureアカウントのクレデンシャルで構成する必要があります。

最新問題: 39

フェニックスリージョンでのみ実行されているOracleCloudInfrastructureにアプリケーションがデプロイされています。重要なデータの損失から保護するディザスタリカバリ（DR）計画を作成するように求められました。DRサイトはプライマリサイトから少なくとも500マイル離れている必要があり、2つのサイト間のデータ転送はパブリックインターネットを通過してはなりません。

推奨される災害復旧計画はどれですか？

A. フェニックスリージョンに新しい仮想クラウドネットワーク (VCN)を作成し、本番システムで現在使用されていない1つの可用性ドメイン (AD)にサブネットを作成します。本番サイトとDRサイトの間にVCNピアリングを確立します。

B. AshburnでDR環境を作成します。DRGを各リージョンのVCNに関連付け、2つのVCN間にリモートピアリング接続を作成します。

C. AshburnでDR環境を作成し、リージョン間でDRGを使用してFastConnect仮想回線をプロビジョニングします。

D. AshburnでDR環境を作成します。ダイナミックルーティングゲートウェイ (DRG)を各リージョンのVCNに関連付け、2つのリージョン間にIPsecVPN接続を構成します。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

リモートVCNピアリングは、異なるリージョンにある2つのVCNを接続するプロセスです (ただし、同じテナンシー)。ピアリングにより、VCNのリソースは、インターネットまたはオンプレミスネットワークを介してトラフィックをルーティングすることなく、プライベートIPアドレスを使用して通信できます。ピアリングがない場合、特定のVCNには、別の地域の別のVCNと通信する必要があるインスタンス用のインターネットゲートウェイとパブリックIPアドレスが必要になります。

大まかに言えば、リモートピアリングに必要なネットワークサービスコンポーネントには次のものがあります。

- リモートピアリングをサポートする異なるリージョンにある、重複しないCIDRを持つ2つのVCN。VCNは同じテナンシーにある必要があります。

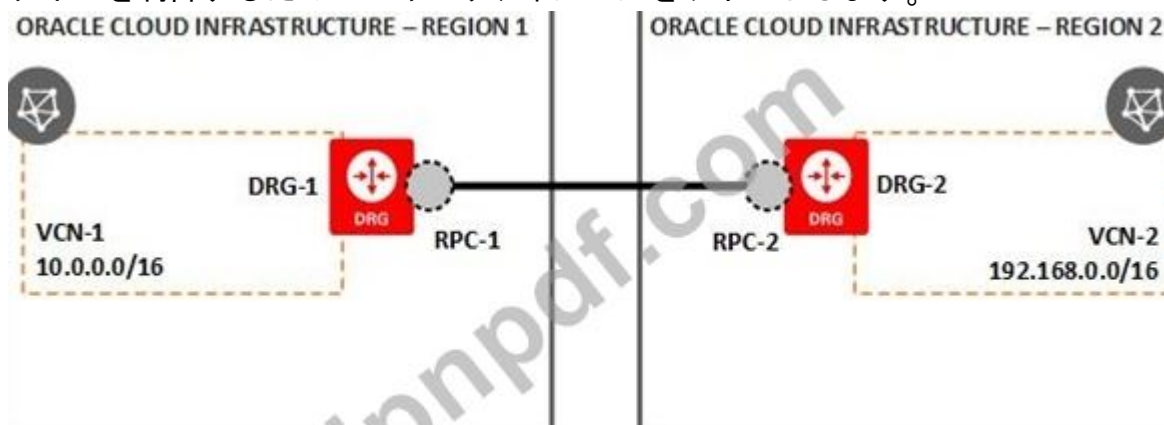
- ピアリング関係の各VCNに接続された動的ルーティングゲートウェイ (DRG)。IPSecVPNまたはOracle Cloud Infrastructure FastConnectプライベート仮想回線を使用している場合、VCNにはすでにDRGがあります。

ピアリング関係にある各DRGのリモートピアリング接続 (RPC)。

これら2つのRPC間の接続。

トラフィックが接続を介して、それぞれのVCN内の選択されたサブネットとの間でのみ流れるようにするルートルールをサポートします (必要な場合)。

他のVCNと通信する必要があるサブネット内のインスタンスとの間で許可されるトラフィックのタイプを制御するためのセキュリティルールをサポートします。



With supporting route tables and security rules
in each VCN to enable traffic

最新問題: 40

同じリージョンのOracle Cloud Infrastructure (OCI) オブジェクトストレージにデータをコピーする必要があるアプリケーションサーバーがあります。仮想クラウドネットワーク (VCN) に OCI オブジェクトストレージ用のサービスゲートウェイを作成し、サブネットに関連付けられたセキュリティリストを変更して、サービスゲートウェイへのトラフィックを許可しました。OCI オブジェクトストレージに接続することはできますが、接続がサービスゲートウェイではなくインターネットを介していることに気づきました。

この動作の理由は何ですか？

- A. VCNで作成されたサービスゲートウェイは、別の可用性ドメインに存在します
- B. サブネットに関連付けられたセキュリティリストには、すべてのトラフィックを宛先 CIDR 0.0.0.0/0 に転送することを許可する出カールールがあります
- C. サブネットに関連付けられたルートテーブルには、宛先がオブジェクトストレージサービスであるルートルールがありません
- D. Identity and Access Management (IAM) ポリシーは、オブジェクトストレージバケットへのアクセスを制限します

Answer: C ([メッセージを残す](#))

最新問題: 41

手動またはポリシーベースのブロックボリュームバックアップからブロックボリュームを復元することについて正しい説明はどれですか。

- A. 同じリージョン内の任意の可用性ドメインに新しいボリュームとして復元できます。
- B. 元のブロックボリュームバックアップが存在するのと同じ可用性ドメインに新しいボリュームとして復元する必要があります。
- C. 新しいボリュームとして、さまざまなリージョンの任意の可用性ドメインに復元できます。
- D. バックアップとは異なるサイズの新しいボリュームとして復元できます。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

参照：

最新問題: 42

コストの問題から、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) の標準コンピューティングインスタンスにデータベースをデプロイしました。データベースには I/O の高い追加のストレージが必要であり、OCI Block Volume サービスを使用することにしました。

この要件を念頭に置いて、ブロックボリュームに対してどのエラスティックパフォーマンスオプションを選択する必要がありますか？

- A. バランスの取れたパフォーマンス
- B. より高いパフォーマンス
- C. 最高のパフォーマンス
- D. 低コスト

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明/参照 <https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Block/Concepts/blockvolumeperformance.htm>

最新問題: 43

Oracle Cloud Infrastructure Database Cloud Service (DBCS)でネイティブに提供される2つの機能はどれですか。

(2つ選択してください。)

- A. リージョン内の非同期モードのData Guard
- B. 2つのリージョン間のGoldenGateレプリケーション
- C. 最大保護モードのData Guard
- D. オブジェクトストレージへのバックアップ

Answer: A,D ([メッセージを残す](#))

説明

最大パフォーマンス保護モードのData Guardは、単に最大保護モードではなくサポートされますが、DBシステムにログオンし、Data Guardコマンドラインインターフェイス (DGMGRL)にアクセスすることで、追加の保護モードとトランスポートタイプを構成できます。

最新問題: 44

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) DB Systems Data Guardサービスについて正しい2つのステートメントはどれですか。

- A. 両方のDBシステムが同じVCNを使用し、ポート1521が開いている必要があります
- B. OCIでのデータガード構成は仮想マシンのみに制限されます
- C. ベアメタルシェイプのデータガードの実装には、2つのDBシステムが必要です。1つはプライマリデータベースを含み、もう1つはスタンバイデータベースを含みます。
- D. Data Guardの実装には、2つのDBシステムが必要です。1つは仮想マシンでプライマリデータベースを実行し、スタンバイデータベースはベアメタルで実行します。

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

Oracle Data Guardの実装には、2つのDBシステムが必要です。1つはプライマリデータベースを含み、もう1つはスタンバイデータベースを含みます。仮想マシンのDBシステムデータベースに対してOracle Data Guardを有効にすると、スタンバイデータベースを備えた新しいDBシステムが作成され、プライマリデータベースに関連付けられます。ベアメタルDBシステムの場合、Oracle Data Guardを有効にする前に、スタンバイとして使用するデータベースを備えたDBシステムがすでに存在している必要があります。

要件の詳細は次のとおりです。

- 両方のDBシステムが同じコンパートメントにある必要があります。
- DBシステムは同じ形状タイプである必要があります (たとえば、プライマリデータベースの形状が仮想マシンの場合、スタンバイデータベースの形状は他の仮想マシンの形状にすることができます)。

-プライマリデータベースとスタンバイデータベースが異なるリージョンにある場合は、データベースごとに仮想クラウドネットワーク (VCN) をピアリングする必要があります。

-Oracle Data Guardアソシエーションの両方のDBシステムのサブネットのセキュリティ・リストの入力および出カールールを構成して、TCPトラフィックが該当するポート間を移動できるようにします。作成するルールがステートフル (デフォルト) であることを確認してください。

最新問題: 45

データセンターとOracleCloudInfrastructure (OCI) 間の高帯域幅の冗長接続を設計しています。OCI FastConnectの場所を調査しているときに、Ashburn地域のOracleFastConnectの場所の1つでOracleと同じ場所にいることに気付きました。

このシナリオで推奨される設計は何ですか？

- A. クロスコネクトグループを作成し、そのグループに2つ以上のクロスコネクトを設定します。このグループにIPsecVPN接続を作成します。
- B. データセンターとOCIAshburnリージョンの間に2つのIPsec接続を設定します。OCIロードバランサーを作成して、2つの接続間でトラフィックを分散します。
- C. 相互接続グループを作成し、そのグループに少なくとも2つ以上の相互接続があります。グループ内に少なくとも2つ以上の仮想回線を作成します。
- D. 相互接続グループを作成し、そのグループに少なくとも1つの相互接続があります。グループ内に少なくとも1つの仮想回線を作成します。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

たとえば、組織のさまざまな部分からトラフィックを分離したり (10.0.1.0/24用の1つの仮想回線、172.16.0.0 / 16用の別の仮想回線)、冗長性を提供したりするために、複数の専用仮想回線を使用できます。

最新問題: 46

インスタンス上で実行されているアプリケーションがユーザー資格情報を構成せずにOracleCloudInfrastructure (OCI) パブリック・サービスを呼び出すことができるように、インスタンス・プリンシパルを設定する必要があります。

チームの開発者は、インスタンスプリンシパルプロバイダーを使用して認証するために、OCISDKを使用して構築されたアプリケーションを既に構成しています。

この設定を完了するために必要な手順ではないのはどれですか？

- A. 一致するルールを使用して動的グループを作成し、サービスに対してAPI呼び出しを行うことを許可するインスタンスを指定します。
- B. 認証トークンを生成して、動的グループ内のインスタンスがAPIで認証できるようにします。
- C. コンパートメントまたはテナンシーのサービスにアクセスするためのアクセス許可を動的グループに付与するポリシーを作成します。
- D. 動的グループに属するすべてのインスタンスにアプリケーションとSDKをデプロイします。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

説明/参照 <https://blogs.oracle.com/cloud-infrastructure/announcing-instance-principals-for-identity-and-access-management>

有効な 1Z0-1072-20 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1Z0-1072-20 試験問題集！ GoShiken.com が最新の 1Z0-1072-20 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1Z0-1072-20 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1Z0-1072-20 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Oracle/1Z0-1072-20-mondaishu.html> (24030%OFF問題集溶と正解付きで 30%w特別割引コード:

Freepdfdumps)

最新問題: 47

Autonomous Data Warehouse (ADW)からレポートを実行するために新しい従業員を雇いましたが、SQL書き込み能力に自信がありません。

コードの影響を最小限に抑えるために、この個人をどの消費者グループに割り当てますか？

- A. 最低
- B. 中
- C. 最高
- D. 高
- E. 低

Answer: E ([メッセージを残す](#))

説明

ADWでは、credentials zipファイルで提供されるtnsnames.oraファイルには、高、中、低として識別可能な3つのデータベースサービス名が含まれています。事前定義されたサービス名は、AutonomousDataWarehouseにさまざまなレベルのパフォーマンスと同時実行性を提供します。

high Highデータベースサービスは、各SQLステートメントに最高レベルのリソースを提供し、最高のパフォーマンスを実現しますが、サポートする同時SQLステートメントの数は最も少なくなります。このサービスのすべてのSQLステートメントは、データベース内のすべてのCPUおよびIOリソースを使用できます。このサービスで実行できる同時SQLステートメントの数は3です。この数は、データベース内のOCPUの数とは無関係です。

中：中データベースサービスは、各SQLステートメントに低レベルのリソースを提供するため、パフォーマンスのレベルが低下する可能性があります、より多くの同時SQLステートメントをサポートします。このサービスのSQLステートメントは、データベース内の複数のCPUおよびIOリソースを使用できます。このサービスで実行できる同時SQLステートメントの数は、データベース内のOCPUの数によって異なります。

low Lowデータベースサービスは、各SQLステートメントに最小レベルのリソースを提供しますが、最大数の同時SQLステートメントをサポートします。このサービスのSQLステートメントは

すべて、データベース内の単一のCPUと複数のIOリソースを使用できます。このサービスで実行できる同時SQLステートメントの数は、OCPUの数の最大300倍になる可能性があります。

事前定義されたサービス名は、自律DBにさまざまなレベルのパフォーマンスと同時実行性を提供します。パフォーマンスと同時実行性の最適なバランスを提供するデータベースサービスを選択します。

低いデータベースサービス名を使用します。低消費者グループによるSQLの影響を最小限に抑えるため

最新問題: 48

あなたは、HealthRecords」という名前のOracle Cloud Infrastructure (OCI) ObjectStorageバケットに多数の患者の健康記録を保存する健康保険会社で働いています。

各レコードは、規制順守の目的で5年間安全に保管する必要があり、この期間中に変更、上書き、または削除することはできません。

この要件を満たすために何ができますか？

- A. OCIオブジェクトストレージライフサイクルポリシールールを作成して、HealthRecordsバケット内のオブジェクトを5年間アーカイブします。
- B. HealthRecordsバケットに5年間のOCIオブジェクトストレージの期限付き保持ルールを作成します。

このバケットで保持ルールロックを有効にします。

- C. 独自のボルトマスター暗号化キーを使用して、HealthRecordsバケットで暗号化を有効にします。
- D. HealthRecordsバケットでバージョニングを有効にします。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

参照：

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Object/Tasks/usingretentionrules.htm>

最新問題: 49

OracleCloudInfrastructureのプログラムによるエンドポイントにアクセスするユーザーを作成するように求められます。ユーザーは、ユーザー名とパスワードによる認証を許可されてはなりません。

使用できる2つの認証オプションはどれですか？ 2つ選択してください。）

- A. API署名キー
- B. SSHキーペア
- C. 認証トークン
- D. Windowsパスワード
- E. PEM証明書ファイル

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

最新問題: 50

コンピューティングインスタンスでOracleデータベースの代わりにDatabaseCloudService (DBCS)を使用する必要があるビジネスニーズは何ですか？

- A. コンピューティングサービスに独自のライセンスを持ち込む
- B. コンピューティングサービス上にOracleデータベースを構築する
- C. ライセンスとインフラストラクチャのコストを削減する
- D. 高可用性のためにOracleRACを実装する

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 51

有効なTerraform構成コンポーネントはどれですか？ 3つ選択してください。)

- A. 変数
- B. データソース
- C. メタデータ
- D. インスタンス
- E. リソース
- F. 地域

Answer: A,B,E ([メッセージを残す](#))

最新問題: 52

OracleCloudInfrastructureで実行されているアプリケーションがあります。読み取りおよび書き込み操作により、ユーザーアクセスが損なわれるほどアプリケーションの速度が低下していることを確認しました。アプリケーションは現在、ブロックストレージが接続されていないVM.Standard2.1コンピューティングを使用しています。

ディスクIOPSのパフォーマンスを向上させることができる2つのオプションはどれですか？

- A. ブートボリュームを保持したままコンピューティングインスタンスを終了します。保存されたブートボリュームを使用してVM.DenseIO2.8シェイプを使用して新しいコンピューティングインスタンスを作成し、NVMeデバイスを使用してアプリケーションをホストします。
- B. ブートボリュームを保持したままコンピューティングインスタンスを終了します。ブートボリュームは保持されているが、ブロックボリュームは接続されていない状態で、VM.Standard2.2シェイプを使用して新しいコンピューティングインスタンスを作成します。
- C. ブートボリュームを保持したままコンピューティングインスタンスを終了します。保存されたブートボリュームを使用してVM.Standard2.2シェイプを使用して新しいコンピューティングインスタンスを作成し、アプリケーションをホストするために新しいブロックボリュームをアタッチします。
- D. ブートボリュームを保持したままコンピューティングインスタンスを終了します。BM.GPU2.2シェイプを使用して新しいコンピューティングインスタンスを作成します。ブートボリュームは保持されますが、ブロックボリュームはアタッチされません。

Answer: A,D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 53

Oracle Autonomous Transaction Processing (ATP) データベースでTier1OLTPアプリケーションを管理しています。ビジネスでは、このATPデータベースで1時間ごとのバッチプロセスを実行する必要があります。このプロセスは、サーバーで使用可能なCPUよりも多くのCPUを消費する可能性があります。

これらのバッチプロセスを制限して、OLTPトランザクションに干渉しないようにするにはどうすればよいですか？

- A. バッチプロセスのコンシューマーグループのCPU/IO共有を変更するようにATPリソース管理ルールを構成します。
- B. OLTPデータを新しい表スペースの新しい表にコピーし、これらの新しい表に対してバッチ・プロセスを実行します。
- C. バッチ処理操作中の自動バックアップを無効にします。
- D. ATPはOLTPワークロード専用設計されており、ATPでバッチプロセスを実行することはできません。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明/参照 :

最新問題: 54

1つ以上のOracle Cloud Infrastructure (OCI) リソースが使用できなくなったことを示すアプリケーション障害が通知されました。コンピューティングコンソールとデータベースコンソールをスキャンした後、DBシステムの1つが欠落していることに気付きました。

この不足しているリソースの理由を特定するにはどうすればよいですか？

- A. 監査コンソールに移動し、過去24時間にすべてのDELETE要求アクションを検索して、過去24時間に削除されたリソースのリストを取得します。
- B. 監査コンソールに移動し、過去24時間にすべてのGET要求アクションを検索して、過去24時間に発生したすべてのイベントのリストを取得します。
- C. アカウントに関連付けられているサービス制限を表示して、テナント内のDBシステムの許容数を超えていないことを確認します。
- D. 管理コンソールに表示されないDBシステムへのシリアルコンソール接続を作成します。シリアルコンソール接続に接続し、/ var / log / messagesの下のシステムログを確認します。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明/参照 <https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/GSG/Tasks/usingaudit.htm>

最新問題: 55

Oracle Cloud Infrastructure Console for Autonomous Data Warehouseで実行できるタスクは次のうちどれですか？

- A. ネットワーク帯域幅を調整します
- B. メモリのスケールアップ/スケールダウン
- C. データベースに割り当てられるストレージを増やす
- D. CPUのスケールアップ/スケールダウン

Answer: C,D ([メッセージを残す](#))

Autonomous Databaseをスケールアップ/スケールダウンして、コンピューティング (CPU) とストレージの両方の観点から、必要な場合にのみスケールアップできます。これにより、ユーザーは使用ごとに料金を支払うことができます。

Oracleを使用すると、コンピューティングとストレージを個別にスケーリングできます。一緒にスケーリングする必要はありません。これらのスケーリングアクティビティは、OCIコンソールの[詳細]ページの[自律データベース]で完全にオンライン (ダウンタイムは不要) で、[スケールアップ/ダウン]をクリックします。矢印をクリックして、CPUコア数またはストレージ (TB) の値を選択します。

または、自動スケーリングを選択して、自動スケーリングを無効にして動作しているデータベースと比較して、システムがワークロードの需要を満たすために最大3倍のCPUおよびIOリソースを自動的に使用できるようにします。

最新問題: 56

Oracleデータベースを実行するためのコンピューティングインスタンス (VM.Standard2.24) をデプロイしました。この設定では、いくつかのパフォーマンスの問題が発生し、25.6TBのローカル NVMeSSDを取得するOCIDense IOシェイプ (VM.DenseIO2.24) を活用したいと考えています。インスタンスに加えた構成変更を失いたくない。この移行を行うために必要でない2つのステップはどれですか？

- A. VM.Standard2.24インスタンスを終了し、ブートボリュームを保持しません
- B. 保存されたブートボリュームを使用してVM.DenseIO2.24シェイプを使用して新しいインスタンスを作成し、OracleデータベースデータをNVMeディスクに移動します
- C. VM.Standard2.24インスタンスを終了し、ブートボリュームを保持します
- D. 保存されたブートボリュームを使用してVM.DenseIO2.24シェイプを使用して新しいインスタンスを作成し、Oracleデータベースデータをブロックボリュームに移動します

Answer: (解答を表示する)

不要になったインスタンスを完全に終了 (削除できます。インスタンスが終了すると、接続されているVNICとボリュームは自動的に切り離されます。最終的に、インスタンスのパブリックIPアドレスとプライベートIPアドレスが解放され、他のインスタンスで使えるようになります。デフォルトでは、インスタンスを終了するとインスタンスのブートボリュームは削除されますが、インスタンスに関連付けられたブートボリュームを保持して、データボリュームとして別のインスタンスにアタッチしたり、新しいインスタンスを起動したりすることができます。。

高密度I/Oシェイプ大規模なデータベース、ビッグデータのワークロード、および高性能のローカルストレージを必要とするアプリケーション向けに設計されています。DenseIOシェイプには、ローカルに接続されたNVMeベースのSSDが含まれます。

したがって、VM.DenseIOを作成したら、データベースをローカルに接続されたNVMeベースのSSDに移動する必要があります

最新問題: 57

あなたの会社は、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Object Storageサービスを使用して、大規模なデータセットをデータサイエンスチームと共有しています。データサイエンスチームは、ワシントンのオフィスで働く20人で構成されています。

D.C.、そして東京。これらのオフィスで作業している間、従業員にはパブリックIP範囲

129.146.31.0/27のIPアドレスが割り当てられます。このシナリオで使用されるオブジェクトストレージバケットにこれらのオフィスの場所からのみアクセスできるようにするには、どの2つの手順を実行する必要がありますか。2つ選択してください。)

A. request.networkSource.name=CorpNetである条件ステートメントを含むIAMポリシーを記述します

B. CIDRブロックが129.146.31.0/27のCorpNetworkという名前のネットワークソースを作成します

C. バケットの可視性を公開に設定し、URLをデータサイエンスチームとメールでのみ共有します

D. request.regionの条件ステートメントを含むIAMポリシーを記述します

129.146.31.0 / 27

E. データセットごとに事前認証されたリクエストを作成し、メールでのみデータサイエンスチームと共有します

F. CIDRブロックが129.146.0.0/16のCorpNetworkという名前のネットワークソースを作成します

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 58

Oracle Cloud Infrastructure Console for Autonomous Data Warehouseで実行できるタスクは次のうちどれですか？

A. ネットワーク帯域幅を調整します

B. メモリのスケールアップ/スケールダウン

C. データベースに割り当てられるストレージを増やす

D. CPUのスケールアップ/スケールダウン

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

Autonomous Databaseをスケールアップ/スケールダウンして、コンピューティング (CPU) とストレージの両方の観点から、必要な場合にのみスケールアップできます。これにより、ユーザーは使用ごとに料金を支払うことができます。

Oracleを使用すると、コンピューティングとストレージを個別にスケールアップできます。一緒にスケールアップする必要はありません。これらのスケールアップアクティビティは、OCIコンソールの[詳細]ページの[自律データベース]で完全にオンライン (ダウンタイムは不要) で、[スケールアップ/ダウン]をクリックします。矢印をクリックして、CPUコア数またはストレージ (TB) の値を選択します。

または、自動スケールアップを選択して、自動スケールアップを無効にして動作しているデータベースと比較して、システムがワークロードの需要を満たすために最大3倍のCPUおよびIOリソースを自動的に使用できるようにします。

最新問題: 59

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Object Storageのサーバー側暗号化について正しい説明は次のうちどれですか？

- A. マスター暗号化キーによるデータ暗号化キーの暗号化はオプションです。
- B. お客様が提供した暗号化キーは常にOCIVaultサービスに保存されます。
- C. 暗号化はデフォルトで有効になっており、オフにすることはできません。
- D. バケット内の各オブジェクトは、常に同じデータ暗号化キーで暗号化されます。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

参照：

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Object/Tasks/usingyourencryptionkeys.htm>

最新問題: 60

管理者がOracleCloudInfrastructureと連携できる2つのIDプロバイダーはどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. Microsoft Active Directory
- B. Oracle Identity Cloud Services
- C. AWSディレクトリサービス
- D. Googleディレクトリフェデレーションサービス

Answer: A,B ([メッセージを残す](#))

説明

参照：

Oracle Cloud Infrastructureは、Oracle IdentityCloudServiceおよびMicrosoftActiveDirectory (Active Directoryフェデレーションサービス (AD FS) 経由とのフェデレーション、およびSecurity Assertion Markup Language (SAML) 2.0プロトコルをサポートするIDプロバイダーをサポートします。

最新問題: 61

Oracle Cloud Infrastructure File Storage Serviceに関する2つの説明のうち、正しいものはどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. お客様は、エクスポートオプションを介してマウントターゲットへの通信を暗号化できます。
- B. マウントターゲットはデフォルトでOracle管理のキーを使用します。
- C. ファイルシステムはデフォルトでOracle管理のキーを使用します。
- D. お客様は、独自のVault暗号化キーを使用してファイルシステム内のデータを暗号化できます。
- E. マウントターゲット内のファイルシステムとの通信は、HTTPSを介して暗号化されます。

Answer: B,D ([メッセージを残す](#))

参照：

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/File/Concepts/filestorageoverview.htm>

有効な 1Z0-1072-20 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1Z0-1072-20 試験問題集！ GoShiken.com が最新の 1Z0-1072-20 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1Z0-1072-20 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1Z0-1072-20 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Oracle/1Z0-1072-20-mondaishu.html> (24030%OFF問題集溶と正解付きで 30%w 特別割引コード:

Freepdfdumps)

最新問題: 62

既存のコンピューティングインスタンスにセカンダリVNICを追加することについて正しい2つのステートメントはどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. プライマリとセカンダリのVNICアソシエーションは同じ可用性ドメインに存在する必要があります
- B. エフェメラルパブリックIPをセカンダリVNICに割り当てることができます
- C. セカンダリVNICの接続が完了した後、プライマリVNICを削除できます
- D. プライマリおよびセカンダリVNICアソシエーションは、異なる仮想クラウドネットワーク (VCN) に存在できます。

Answer: A,D (メッセージを残す)

説明

インスタンスの起動後にセカンダリVNICをインスタンスに追加できます。各セカンダリVNICは、プライマリVNICと同じVCNのサブネット、または同じVCNまたは別のVCNにある別のサブネットに含めることができます。ただし、すべてVNICは、インスタンスと同じ可用性ドメインに存在する必要があります。」

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Network/Tasks/managingVNICs.htm>

最新問題: 63

Oracle Cloud Infrastructureストレージサービスについて正しい2つのステートメントはどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. ブロックボリュームサービスはインスタンスあたりエクサバイトに拡張されますが、ファイルストレージサービスは無制限のスケーラビリティを提供します。
- B. ファイルストレージはネットワークファイルシステム (NFS) プロトコルを使用しますが、ブロックボリュームはiSCSIを使用します。
- C. ブロックボリューム、ファイルストレージファイルシステム、およびオブジェクトストレージバケットの増分スナップショットを作成できます。
- D. ファイルストレージマウントターゲットはプライベートIPアドレスを提供しませんが、オブジェクトストレージバケットはプライベートIPアドレスを提供します。
- E. オブジェクトストレージバケット、ブロックボリューム、ファイルストレージマウントターゲットをコンパートメント間で移動できます。

Answer: B,E (メッセージを残す)

最新問題: 64

IT部門は、ストレージコストを削減するだけでなく、中央監査グループによって設定されたコンプライアンス要件も満たしたいと考えています。Wordが行う(*.docx) ファイルとExcelファイル(*.xlsx) の両方を含むレガシーバケットがあります。監査人は、コンプライアンスの目的でExcelファイルのみを保持したいと考えています。IT部門は、他のすべてのファイルを365日間だけ保持したいと考えています。この要件を満たすために実行できる2つのステップは何ですか？

- A. パターンマッチングなしで365日後にレガシーバケットからオブジェクトをアーカイブするためのオブジェクトストレージライフサイクルルールを作成します
- B. オブジェクトストレージライフサイクルルールを作成して、365日後にフィルタータイプを使用してレガシーバケットからオブジェクトを削除します。パターンで含める : ".docx"
- C. この要件を満たすことはできません
- D. オブジェクトストレージライフサイクルルールを作成して、365日後にフィルタータイプを使用してレガシーバケットからオブジェクトを削除します。パターンで除外 : ".xlsx"
- E. オブジェクトストレージライフサイクルルールを作成して、パターンマッチングなしで365日後にレガシーバケットからオブジェクトを削除します

Answer: B,D (メッセージを残す)

説明

オブジェクトライフサイクル管理を使用すると、オブジェクトのアーカイブと削除を自動的に管理できます。Object Lifecycle Managementを使用してObjectStorageおよびArchiveStorageデータを管理することにより、ストレージコストとデータの管理に費やす時間を削減できます。

オブジェクト名フィルターを使用して、ライフサイクルルールが適用されるオブジェクトを指定します。

オブジェクトフィルターは任意の順序で追加できます。Object Lifecycle Managementは、ルールの優先順位を次のように評価します。

パターンの除外

パターンインクルージョン

プレフィックスインクルージョン

最新問題: 65

動的ルーティングゲートウェイを使用する2つのOracleCloudInfrastructureサービスはどれですか？

- A. OCIFastConnectパブリックピアリング
- B. ローカルピアリング
- C. OCIFastConnectプライベートピアリング
- D. インターネットゲートウェイ
- E. OCIIPSecVPN接続

Answer: C,E (メッセージを残す)

DRGは、VCNとVCNのリージョン外のネットワークとの間のプライベートトラフィック (つまり、プライベートIPv4アドレスを使用するトラフィック) のパスを提供する仮想ルーターと考えることができます。

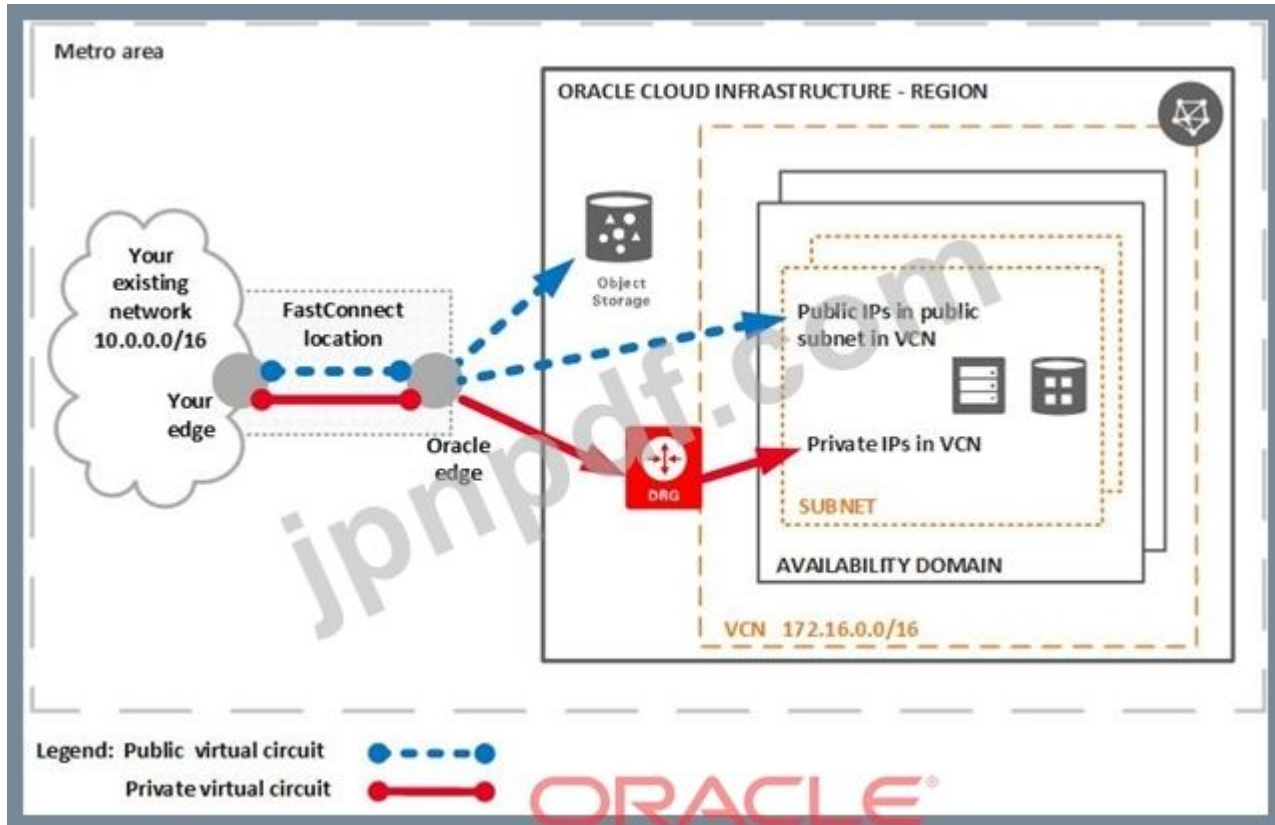
次のいずれか または両方)を使用して、既存のオンプレミスネットワークを仮想クラウドネットワーク (VCN)に接続する場合は、DRGを使用します。

IPSec VPN

Oracle Cloud Infrastructure FastConnect プライベートのみ)

また、VCNを別のリージョンのVCNとピアリングする場合もDRGを使用します。

リモートVCNピアリング (リージョン間)



最新問題: 66

DBシステムでのDataGuardの実装について正しい説明はどれですか。

- A. 両方のDBシステムは同じコンパートメントにあり、同じ形状である必要があります
- B. バックアップウィンドウを定義し、データベースの自動バックアップスケジュールのカスタムバックアップ保持期間を設定できます。
- C. Oracleデータベースの初期化パラメータをグローバルレベルで管理することはできません。
- D. データベースをsys / sysdbaとして管理することはできません。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

Oracle Data Guardの実装には、2つのDBシステムが必要です。1つはプライマリ・データベースを含み、もう1つはスタンバイ・データベースを含みます。仮想マシンのDBシステム・データベースに対してOracle Data Guardを有効にすると、スタンバイ・データベースを備えた新しいDBシステムが作成され、プライマリ・データベースに関連付けられます。ベアメタルDBシステムの場合、Oracle Data Guardを有効にする前に、スタンバイとして使用するデータベースを備えたDBシステムがすでに存在している必要があります。

要件の詳細は次のとおりです。

- 両方のDBシステムが同じコンパートメントにある必要があります。
- DBシステムは同じ形状タイプである必要があります。たとえば、プライマリデータベースの形状が仮想マシンの場合、スタンバイデータベースの形状は他の仮想マシンの形状にすることができません)。
- プライマリデータベースとスタンバイデータベースが異なるリージョンにある場合は、データベースごとに仮想クラウドネットワーク (VCN) をピアリングする必要があります。リモートVCNピアリング (リージョン間) を参照してください。
- Oracle Data Guardアソシエーションの両方のDBシステムのサブネットのセキュリティ・リストの入力および出カールールを構成して、TCPトラフィックが該当するポート間を移動できるようにします。作成するルールがステートフル (デフォルト) であることを確認してください。

最新問題: 67

以下に定義されているYAMLファイルを使用して、Oracle Cloud Infrastructure Container Engine for Kubernetes (OKE) で次のコマンドを正常に実行するとどうなりますか？

```
kubectl create -fdefinition.yml
```

YAMLファイル-definition.yml

```
apiVersion: v1
kind: Pod
metadata:
  name: myapp
  labels:
    app: myapp
spec:
  containers:
    - name: nginx-image
      image: nginx
    - name: mysql-image
      image: mysql
```

- A. 単一のコンテナを持つ単一のポッドが作成されます。
- B. それぞれコンテナを持つ2つのポッドが作成されます。
- C. ポッドは作成されません。
- D. 2つのコンテナを持つ単一のポッドが作成されます。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 68

オンプレミス環境で、カスタムイメージとしてOCIにインポートする複数のLinuxベースのオペレーティングシステムを実行しています。インポートしたイメージをOCIコンピューティング仮

想マシンとして起動できます。これらのインポートされたLinuxVMを起動するために使用できるモードは次のうちどれですか？

- A. ネイティブ
- B. 混合
- C. 準仮想化
- D. エミュレート

Answer: C,D ([メッセージを残す](#))

コンソールまたはAPIを使用して、エクスポートされた画像をObjectStorageからインポートできます。画像をインポートするには、画像を含むObjectStorageオブジェクトへの読み取りアクセス権が必要です。

インポート中に、起動モードを選択できます。

イメージ形式がociであるカスタム・イメージの場合、Oracle Cloud Infrastructureは、ソース・イメージの起動モードに基づいて、適切な起動モードを選択します。

イメージ・タイプがQCOW2であるOracle Cloud Infrastructureからエクスポートされたカスタム・イメージの場合、「ネイティブ・モード」を選択します。

他のカスタムイメージをインポートするには、準仮想化モードまたはエミュレートモードを選択します。詳細については、Bring Your Own Image (BYOI)を参照してください。

These Linux distributions support custom image import:

Linux Distribution	Supported Versions	Preferred Launch Mode
CentOS	7 or later	Paravirtualized
	4.0, 4.8, 5.11, 6.9	Emulated
CoreOS Container Linux Note: The end-of-support date for CoreOS Container Linux is May 26, 2020. You should migrate your workloads to another operating system to remain secure.	2345.3.0 or later	Paravirtualized
Debian	8 or later	Paravirtualized
	5.0.10, 6.0, 7	Emulated
FreeBSD	12 or later	Paravirtualized
	8, 9, 10, 11	Emulated
openSUSE Leap	15.1	Paravirtualized
Oracle Linux	7 or later	Paravirtualized
	4.5, 4.8, 5.8, 5.11, 6.2, 6.5	Emulated
RHEL	7 or later	Paravirtualized
	4.5, 5.5, 5.6, 5.9, 5.11, 6.5, 6.9	Emulated
SUSE	12.2 or later	Paravirtualized
	11, 12.1	Emulated
Ubuntu	13.04 or later	Paravirtualized
	12.04	Emulated

最新問題: 69

Oracle Cloud Infrastructure Virtual Cloud Network (VCN)について正しい2つのステートメントはどれですか。(2つ選択してください。)

- A. VCNは、複数のOracle Cloud Infrastructureリージョンおよび可用性ドメインに存在できます。
- B. VCNは、選択した単一の連続するIPv4CIDRブロックをカバーします。
- C. 許容されるVCNサイズの範囲は、/ 16 ~ / 30です。
- D. VCNは、デフォルトで動的ルーティングゲートウェイを作成します。

Answer: B,C ([メッセージを残す](#))

説明

VCNは、単一のOracle Cloud Infrastructureリージョンに存在し、選択した単一の連続したIPv4CIDRブロックをカバーします。許容されるVCNサイズの範囲は/ 16 ~ / 30です。

最新問題: 70

データセット全体で多くのランダムな読み取りと書き込みを頻繁に行うデータベーススタイルのアプリケーションが1つあります。

このアプリケーションをサポートするストレージオファリングはどれですか？

- A. オブジェクトストレージサービス
- B. アーカイブストレージサービス
- C. ブロックストレージサービス
- D. ファイルストレージサービス

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 71

現在、25の同一のコンピューティングリソースを利用して顧客のトラフィックを処理するeコマースアプリケーションを管理しています。利害関係者は、ソフトウェアの新しいバージョンを展開してテストするために、さらに25の同一のコンピューティングリソースを作成するように依頼しましたか？

最初の25個と同じ25個の追加のコンピューティングリソースを作成するための最も効率的なプロセスは何ですか？

- A. 25台のサーバーに属する各ブートボリュームの手動バックアップを作成します。各バックアップを復元して作成します

25個の新しいブートボリューム。そこからさらに25台のサーバーをプロビジョニングします。

- B. 25台のサーバーのうち1台のブートボリュームのクローンを作成します。ブートボリュームクローンを使用して、さらに25台のサーバーをプロビジョニングします
- C. 新しいサーバーをプロビジョニングし、最初の25台と同じになるように構成します。新しいサーバーからカスタムイメージを作成し、カスタムイメージを使用してさらに24台のサーバーをプロビジョニングします
- D. 25台のサーバーのうちの1台からカスタムイメージを作成します。このカスタムイメージを使用して、さらに25台のサーバーをプロビジョニングします

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 72

Oracle Cloud Infrastructureのテナンシー管理者として、事前定義された値のリストを作成し、それらをタグ キー定義に関連付けました。

テナンシーのユーザーの1人が、これらの事前定義された値が表示されないと不満を言っています。

この問題の原因は何ですか？

- A. ユーザーが自由形式のタグを使用しようとしています。
- B. 事前定義された値の一部がnullです。
- C. ユーザーは、タグ付けへのアクセスを許可するIdentity and Access Managementグループの一部ではありません。
- D. ユーザーがタグを使用するためのクォータまたはサービス制限に違反しました。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

参照：

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Tagging/Tasks/usingpredefinedvalues.htm>

最新問題: 73

単一のOracleCloud Infrastructure可用性ドメインに排他的に存在する2つのリソースはどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. IDおよびアクセス管理グループ
- B. オブジェクトストレージ
- C. Webアプリケーションファイアウォールポリシー
- D. ブロックボリューム
- E. インスタンスを計算します

Answer: D,E ([メッセージを残す](#))

説明/参照：

最新問題: 74

組織は、Oracle Cloud Infrastructure (OCI)の複数のコンピューティングインスタンスに大規模で複雑なアプリケーションをデプロイしています。これらのコンピューティングインスタンスには、ブロックボリュームストレージも接続されています。これらのブロックボリュームストレージの時間整合性のあるバックアップを作成する必要があります。

どの実装戦略を使用する必要がありますか？

- A. 各ボリュームの手動バックアップを作成します
- B. OCIで利用可能なスクリプトを使用して、ブロックボリュームストレージをバックアップします
- C. 最初にボリュームグループにボリュームをグループ化し、次にOCIで使用可能なスクリプトを使用します
- D. ボリュームをボリュームグループにグループ化し、ボリュームグループの手動バックアップを作成します

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

Oracle Cloud Infrastructure Block Volumeサービスは、ボリュームグループ内の複数のボリュームをグループ化する機能を提供します。ボリュームグループには、両方のタイプのボリューム、Computeインスタンスのシステムディスクであるブートボリューム、およびデータストレージのブロックボリュームを含めることができます。ボリュームグループを使用して、ポイントインタイムでクラッシュ整合性のあるボリュームグループのバックアップとクローンを作成できます。

これにより、複数のインスタンスにまたがる複数のストレージボリュームにまたがる、実行中のエンタープライズアプリケーションの時間整合性のあるバックアップを作成するプロセスが簡素化されます。その後、ボリュームグループのバックアップからボリュームのグループ全体を復元できます。

ボリュームグループのバックアップを作成するには

ナビゲーションメニューを開きます。[コアインフラストラクチャ]で、[ストレージのブロック]に移動し、[ボリュームグループ]をクリックします。
[ボリュームグループ]リストで、バックアップを作成するボリュームグループの[アクション]メニューの[ボリュームグループバックアップの作成]をクリックします。

最新問題: 75

インスタンスは、インスタンスの起動中に作成されたプライマリVNICを使用して起動されます。既存のインスタンスにセカンダリVNICを追加する場合、正しい2つの操作はどれですか。2つ選択してください。)

- A. セカンダリVNICの接続が完了した後、プライマリVNICを削除できます。
- B. 必要がない場合は、後でセカンダリVNICを削除できます。
- C. プライマリとセカンダリのVNICアソシエーションは、同じ可用性ドメイン内にある必要があります。
- D. 2つのVNICをインスタンスに接続することはできません。

Answer: B,C ([メッセージを残す](#))

説明

<https://docs.cloud.oracle.com/iaas/Content/Network/Tasks/managingVNICs.htm>

最新問題: 76

Oracle Cloud Infrastructure Compute Serviceについて正しい2つのステートメントはどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. 同じLaunchInstance APIを使用して、仮想インスタンスまたはベアメタルインスタンスを起動できます。
- B. Oracle Cloud Infrastructure ComputeServiceでベアメタルサーバーを起動することはできません。
- C. コンピューティングインスタンス以外の可用性ドメインにブロックボリュームをアタッチできます。
- D. テナントや地域間でカスタムイメージを共有できます。

Answer: A,D ([メッセージを残す](#))

説明

参照 :

リージョンと可用性DomainsVolumesは、同じ可用性ドメイン内のインスタンスにのみアクセスできます。

可用性ドメインまたはリージョン間でボリュームを移動することはできません。

参考 <https://docs.cloud.oracle.com/iaas/Content/Block/Concepts/overview.htm>

1Z0-1072-20 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com
1Z0-1072-20 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Oracle/1Z0-1072-20-mondaishu.html> (24030%OFF問題集溶と正解付きで 30%w 特別割引コード:
Freepdfdumps)

最新問題: 77

ファイルストレージサービス (FSS)に関する2つの説明のうち、正しいものはどれですか。(2つ選択してください。)

- A. FSSは、UNIXユーザーグループとアクセス許可のチェックを利用してファイルアクセスのセキュリティを確保します
- B. FSSでのファイルシステムの暗号化はオプションです
- C. Identity and Access Management (IAM)は、どのファイルシステムをどのインスタンスでマウント可能かを制御します
- D. セキュリティリストを仮想ファイアウォールとして使用して、インスタンスが同じサブネット内にFSSマウントターゲットをマウントするのを防ぐことができます
- E. FSSマウントターゲットに転送中のデータは暗号化されます

Answer: (解答を表示する)

すべてのデータは保存時に暗号化されます。転送中の暗号化は、TLS v. 1.2 (トランスポート層セキュリティ) 暗号化を使用して、インスタンスとマウントされたファイルシステム間でデータを保護する方法を提供します。

ファイルストレージサービスは、リモートNFSクライアント要求のAUTH_UNIXスタイルの認証とアクセス許可チェックをサポートします。

最新問題: 78

ボリュームのクローン作成について正しい説明はどれですか。

- A. ボリュームからクローンを作成する前にボリュームをデタッチする必要があります。
- B. 複製されたボリュームは、ソースボリュームに依存するスナップショットと同じです。
- C. ボリュームのクローンを作成するときに、ブロックボリュームのサイズを変更できます。
- D. リージョン間でボリュームのクローンを作成できます。

Answer: (解答を表示する)

説明

参照 :

<https://docs.cloud.oracle.com/iaas/Content/Block/Tasks/cloningavolume.htm?tocpath=Services%7CBlock%20V>

最新問題: 79

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) APIエンドポイントに対して認証を行うIdentity and Access Management (IAM) ユーザーを作成するように求められました。このユーザーには、OCIコンソールへのログインを許可する資格情報を付与しないでください。

使用できる2つの認証オプションはどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. SSL証明書
- B. API署名キー
- C. SSHキーペア
- D. PEM証明書ファイル
- E. 認証トークン

Answer: B,E ([メッセージを残す](#))

参照 :

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Identity/Tasks/managingcredentials.htm>

最新問題: 80

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)での暗号化について正しい2つのステートメントはどれですか。
(2つ選択してください。)

- A. デフォルトでは、オブジェクトストレージとブロックストレージは保存時に暗号化されます。
- B. OCIのすべてのサービスでのデータ暗号化は顧客の責任です。
- C. デフォルトでは、DBSystemsは暗号化されたデータベースを提供します。
- D. デフォルトでは、NVMeドライブは暗号化されていますが、ブロックボリュームサービスは暗号化されていません。

Answer: A,C ([メッセージを残す](#))

説明

参照 <https://cloud.oracle.com/storage/object-storage/features>

最新問題: 81

Oracle Cloud Infrastructure Object Storageサービスについて正しくない記述はどれですか？

- A. オブジェクトストレージリソースはテナント間で共有できます。
- B. オブジェクトストレージに保存されているデータの不変オプションは、保持ルールを介して設定できます。
- C. オブジェクトのバージョン管理は名前空間レベルで有効になっています。
- D. オブジェクトライフサイクルルールを使用して、オブジェクトをアーカイブまたは削除できます。

Answer: (解答を表示する)

説明/参照 <https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Object/Tasks/usingversioning.htm>

最新問題: 82

Oracle CloudInfrastructureFastConnectについて正しい説明はどれですか。

- A. プライベートピアリングの場合、FastConnectは既存のインフラストラクチャを拡張して、オンプレミスのデータセンターからオブジェクトストレージを利用できるようにします
- B. プライベートピアリングの場合、FastConnectは既存のインフラストラクチャを仮想クラウドネットワークに拡張します
- C. FastConnectプロバイダーネットワークは、1Gbpsのポート接続速度の増分のみを提供します

D. パブリックピアリングの場合、動的ルーティングゲートウェイを構成し、仮想クラウドネットワーク (VCN)に接続する必要があります

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

FastConnectを使用すると、プライベートピアリング、パブリックピアリング、またはその両方を使用することを選択できます。

プライベートピアリング：既存のインフラストラクチャをOracle Cloud Infrastructureの仮想クラウドネットワーク (VCN)に拡張します。たとえば、ハイブリッドクラウド、またはリフトアンドシフトシナリオを実装するため。接続を介した通信は、IPv4プライベートアドレス（通常はRFC 1918）を使用します。

パブリック・ピアリング：インターネットを使用せずにOracleCloudInfrastructureのパブリック・サービスにアクセスします。たとえば、Object Storage、Oracle Cloud Infrastructure ConsoleとAPI、またはVCNのパブリックロードバランサーです。接続を介した通信は、IPv4パブリックIPアドレスを使用します。FastConnectがないと、パブリックIPアドレス宛てのトラフィックはインターネット経由でルーティングされます。

最新問題: 83

現在、Oracle Cloud Infrastructure (OCI)で可用性の高い学生登録Webサイトをセットアップ中です。OCIでロードバランサーとデータベースサービスを使用します。それぞれ異なるサブネットで2つのコンピューティングインスタンスを起動し、それらをパブリックロードバランサーのバックエンドセットに追加します。ロードバランサーは正しく構成され、機能しています。次に、これら2つのコンピューティングインスタンスに学生登録アプリケーションをデプロイします。アプリケーションはデータベースサービスと通信できます。ただし、この学生登録アプリケーションのURLをブラウザに入力すると、Webページは表示されません。

原因は何でしょうか？

- A. ロードバランサーがアプリケーションのヘルスチェックを実行し、コンピューティングインスタンスが正常な状態にないことを検出し、インスタンスを終了しました。
- B. Dynamic Routing Gatewayは、データセンターネットワークからのクライアントトラフィックがロードバランサーのパブリックIPに到達するのを防ぎます。
- C. クライアントがアプリケーションへのhttpsアクセスを要求しましたが、ロードバランサーサービスはクライアントからリスナー、バックエンドセットへのエンドツーエンドSSLをサポートしていません。
- D. 2つのインスタンスが配置されているサブネットのセキュリティリストには、ポート80および443の「許可」ルールがありません。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 84

現在、Oracle Cloud Infrastructure (OCI)で2つのWebアプリケーションを実行している金融機関で働いています。すべてのリソースはルートコンパートメントで作成されました。

上司から、Oracle FlexCubeの概念実証 (PoC)をサポートするための新しいリソースを導入するように依頼されました。

FlexCubeリソースが保護されており、2つのWebアプリケーションを管理するチームの影響を受けないようにする必要があります。

リソースの必要なセキュリティを確保するために、どの2つのタスクを完了する必要がありますか？ 2つ選択してください。)

- A. 2つのWebアプリケーション用に新しいコンパートメントを作成し、既存のリソースをコンパートメントに移動します。FlexCubeアプリケーションをルートコンパートメントに配置します。FlexCubeプロジェクトチームがテナンシー内のすべてのリソースを管理できるようにする新しいポリシーをルートコンパートメントに作成します。
- B. FlexCubeアプリケーション展開用の新しいコンパートメントを作成します。プロジェクトチームがこのコンパートメントの範囲内ですべてのリソースを管理できるようにするために、このコンパートメントにポリシーを作成します。
- C. 2つのWebアプリケーション用に新しいコンパートメントを作成し、既存のリソースをこのコンパートメントに移動します。これらのアプリケーションを管理するチームの既存のポリシーを変更して、アクセス範囲がこの新しいコンパートメントとして定義されるようにします。
- D. FlexCubeプロジェクトチームのルートコンパートメントに新しいポリシーを作成します。FlexCubeプロジェクトチームに、特定のタグキーとタグ値が存在するテナンシー内のすべてのリソースを管理する機能を付与するポリシーステートメントを割り当てます。
- E. ルートコンパートメント内にデフォルト値\$ {iam.principle.name}でタグデフォルトを作成し、作成された新しいリソースごとに、それを作成した人の名前がタグ付けされるようにします。ユーザーが作成したリソースのみを変更できるようにする新しいIAMポリシーを作成します。

Answer: C,E (メッセージを残す)

最新問題: 85

TerraformおよびTerraformプロバイダーはどの言語で書かれていますか？

- A. Python
- B. 行く
- C. C
- D. ルビー

Answer: B (メッセージを残す)

説明

参照 <https://www.terraform.io/docs/extend/writing-custom-providers.html>

最新問題: 86

Oracle Cloud Infrastructureを活用する2つの基幹業務 (LOB1、LOB2)があります。LOB1はOCIUSEastリージョンのVCN1に展開され、LOB2はUSWestリージョンのVCN2に展開されます。ディザスタリカバリとデータバックアップの目的で、VCN1とVCN2をピアリングする必要があります。OCI仮想クラウドネットワークのリモートピアリング機能を確実に利用できるようにするには、どのCIDR範囲を使用する必要がありますか？

- A. VCN1 10.0.0.0/16)およびVCN2 10.0.1.0/24)
- B. VCN1 10.0.0.0/16)およびVCN2 172.16.0.0/16)
- C. VCN1 172.16.1.0/24)およびVCN2 172.16.1.0/27)
- D. VCN1 192.168.0.0/16)およびVCN2 192.168.1.0/27)

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明

VCN1 10.0.0.0/16)は10.0.0.0から10.0.255.255までのIP範囲を使用し、VCN 2 172.16.0.0/16)は172.16.0.0から172.16.255.255までのIP範囲を使用します。2つのVCN間

最新問題: 87

ログファイル 5 TiBサイズ)をOracle Cloud Infrastructureオブジェクトストレージにアップロードしようとしています。より効率的で復元力のあるアップロードのために、マルチパートアップロード機能を使用することになりました。

マルチパートアップロードについて正しい2つのステートメントはどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. 個々のオブジェクトパーツは、最小で10 MiB、最大で50GiBにすることができます。
- B. マルチパートアップロードがアクティブな間は、パーツの総数が10,000未満であっても、パーツを追加することはできません。
- C. アップロードされたオブジェクトの最大サイズは10 TiB
- D. すべてのオブジェクトパーツをアップロードした後、アップロードをコミットする必要はありません

Answer: A,C ([メッセージを残す](#))

マルチパートアップロードでは、アップロードするオブジェクトを個々のパートに分割します。個々の部品は、最大50GiBまたは最小10MiBにすることができます。Object Storageは、最後にアップロードされたパーツの最小パーツサイズ制限を免除します。) 各パーツに使用するパーツ番号を決定します。部品番号の範囲は1~10,000です。連続した番号を割り当てる必要はありませんが、Object Storageは、部品番号を昇順で並べてオブジェクトを作成します。

アップロードされたオブジェクトの最大サイズは10TiBです

マルチパートアップロードがまだアクティブである間、総数が10,000未満である限り、パーツを追加し続けることができます。

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Object/Tasks/usingmultipartuploads.htm>

最新問題: 88

Oracle Cloud Infrastructure IPSecVPNConnectについて正しい2つのステートメントはどれですか。

- A. 各OCI IPSec VPNは、複数の冗長IPSecトンネルで構成されています
- B. OCI IPSec VPNトンネルは、トラフィックをルーティングするための静的ルートのみをサポートします
- C. OCIIPSecVPNはトンネルモードでのみ構成できます
- D. OCIIPSecVPNはトランスポートモードでのみ構成できます

Answer: A,C (メッセージを残す)

VPN Connectは、オンプレミスネットワークと仮想クラウドネットワーク (VCN)の間にサイト間IPSecVPNを提供します。IPSecプロトコルスイートは、パケットが送信元から宛先に転送される前にIPトラフィックを暗号化し、到着時にトラフィックを復号化します。

一般に、IPSecは次のモードで構成できます。

トランスポートモード :IPSecは、パケットの実際のペイロードのみを暗号化および認証し、ヘッダー情報はそのまま残ります。

トンネルモード (Oracleでサポート) IPSecはパケット全体を暗号化および認証します。暗号化後、パケットはカプセル化されて、異なるヘッダー情報を持つ新しいIPパケットを形成します。

Oracle Cloud Infrastructureは、IPSecVPNのトンネルモードのみをサポートします。

各OracleIPSecVPNは、複数の冗長IPSecトンネルで構成されています。特定のトンネルについて、ボーダーゲートウェイプロトコル (BGP)の動的ルーティングまたは静的ルーティングのいずれかを使用して、そのトンネルのトラフィックをルーティングできます。ルーティングの詳細は次のとおりです。

IPSec VPNサイト間トンネルには、次の利点があります。

データの送信には公共のインターネット回線が使用されるため、あるサイトから別のサイトへの専用の高価な専用回線は必要ありません。

参加しているネットワークとノードの内部IPアドレスは、外部ユーザーには表示されません。

ソースサイトと宛先サイト間の通信全体が暗号化されているため、情報が盗まれる可能性が大幅に低くなります。

最新問題: 89

顧客は、仮想クラウドネットワーク (VCN)でコンピューティングインスタンスを起動しました。これには、インターネットゲートウェイ、サービスゲートウェイ、デフォルトのセキュリティリスト、およびデフォルトのルートテーブルがあります。お客様は、コンピューティングインスタンスサブネットに接続されているセキュリティリストでポート22を開いていますが、sshを使用してコンピューティングインスタンスに接続することはできません。

この状況を改善するオプションはどれですか？

A. インスタンスが存在するVCNサブネットに関連付けられたルートテーブルを変更します。次のルートをルートテーブルに追加します。

宛先CIDR :0.0.0.0/0

ターゲット :インターネットゲートウェイ (IGW)

B. インスタンスが存在するVCNサブネットに関連付けられているセキュリティリストを変更します。ステートフル出カールールを追加して、ポート22に加えてicmpトラフィックを許可します。

C. インスタンスが存在するVCNサブネットに関連付けられたルートテーブルを変更します。次のルートをルートテーブルに追加します。

宛先CIDR :0.0.0.0/0

ターゲット :Dynamic Routing Gateway (DRG)

D. インスタンスが存在するVCNサブネットに関連付けられたルートテーブルを変更します。次のルートをルートテーブルに追加します。

宛先CIDR :0.0.0.0/0

ターゲット :サービスゲートウェイ (\$GW)

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

特定のVCNのコンテキストでインターネットゲートウェイを作成します。つまり、インターネットゲートウェイは自動的にVCNに接続されます。ただし、インターネットゲートウェイはいつでも無効にしてから再度有効にすることができます。

トラフィックがサブネットとインターネットゲートウェイの間を流れるようにするには、サブネットのルートテーブルにそれに応じてルートルールを作成する必要があります。たとえば、宛先CIDR = 0.0.0.0/0およびターゲット=インターネットゲートウェイ)。インターネットゲートウェイが無効になっている場合、そのトラフィックを有効にするルートルールがある場合でも、インターネットとの間でトラフィックが流れないことを意味します。

アクセス制御の目的で、インターネットゲートウェイを配置するコンパートメントを指定する必要があります。使用するコンパートメントがわからない場合は、インターネットゲートウェイをクラウドネットワークと同じコンパートメントに配置してください。

最新問題: 90

3つのプライベートサブネットを持つ仮想クラウドネットワーク (VCN)を作成しました。2つのサブネットにはアプリケーションサーバーが含まれ、3番目のサブネットにはDBシステムが含まれます。アプリケーションには共有ファイルシステムが必要なため、ファイルストレージサービス (FS)を使用してファイルシステムをプロビジョニングしました。

また、アプリケーションサブネットの1つに対応するマウントターゲットを作成しました。VCNセキュリティリストは、アプリケーションサーバーとDBシステムの両方がファイルシステムにアクセスできるように適切に構成されています。セキュリティチームは、DBシステムがファイルシステムへの読み取り専用アクセス権を持つ必要があると判断します。

この要件を満たすためにどのような変更を加える必要がありますか？

- A. マウントターゲットが存在するサブネットに関連付けられているセキュリティリストを変更します。DBシステムサブネットに対応する入カールールをステートレスに変更します。
- B. ファイルシステムがマウントされているアプリケーションサーバーの1つにSSH経由で接続します。Unixコマンドchmodを使用して、ファイルシステムディレクトリのアクセス許可を変更し、データベースユーザーに読み取り専用アクセスを許可します。
- C. ソースがDBシステムサブネットのCIDR範囲である場合にREAD_ONLYアクセスを許可するNFSエクスポートオプションを作成します。
- D. DBシステムのインスタンスプリンシパルを作成します。インスタンスプリンシパルにファイルストレージサービスへの読み取り専用アクセスを許可するIdentityandAccess Management (IAM)ポリシーを記述します。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

最新問題: 91

Autonomous Transaction Processing (ATP) データベースに当てはまる2つのオプションはどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. ATPでディスクグループを追加/削除できます
- B. ATPでストレージをスケールアップまたはスケールダウンできます
- C. ATPでCPUをスケールアップまたはスケールダウンできます
- D. ATPで複数のデータベースを統合するためのプラグブルデータベースをさらに追加できます
- E. 古いバージョンのオンプレミスデータベースをATPに取り込むための新しいORACLE_HOMEを追加できます

Answer: B,C ([メッセージを残す](#))

説明

Autonomous Databaseをスケールアップ/スケールダウンして、コンピューティングとストレージの両方の観点から、必要な場合にのみスケールアップできます。これにより、ユーザーは使用ごとに料金を支払うことができます。

Oracleを使用すると、コンピューティングとストレージを個別にスケーリングできます。一緒にスケーリングする必要はありません。これらのスケーリングアクティビティは、[詳細]ページの[自律データベース]で完全にオンライン (ダウンタイムは不要) で、[スケールアップ/ダウン]をクリックします。矢印をクリックして、CPUコア数またはストレージ (TB) の値を選択します。

または、自動スケーリングを選択して、自動スケーリングを無効にして動作しているデータベースと比較して、システムがワークロードの需要を満たすために最大3倍のCPUおよびIOリソースを自動的に使用できるようにします。

有効な **1Z0-1072-20** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1Z0-1072-20 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1Z0-1072-20** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1Z0-1072-20 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1Z0-1072-20 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Oracle/1Z0-1072-20-mondaishu.html> (**24030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード:

Freepdfdumps)

最新問題: 92

フォールトドメインに関する2つの説明のうち正しいものはどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. 障害ドメインは、可用性ドメイン内のハードウェアとインフラストラクチャのグループです
- B. 各可用性ドメインには3つの障害ドメインが含まれます
- C. 障害ドメインで障害が発生したインスタンスは自動的に再起動されます
- D. 使用状況データに基づいて障害ドメインが自動的に選択されます

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

説明

参照：

障害ドメインは、可用性ドメイン内のハードウェアとインフラストラクチャのグループです。各可用性ドメインには、3つの障害ドメインが含まれています。障害ドメインは非親和性を提供します。インスタンスを分散して、インスタンスが単一の可用性ドメイン内の同じ物理ハードウェア上にないようにします。

最新問題: 93

Oracle Cloud Infrastructureにe-businessアプリケーションをデプロイしようとしています。要件の1つは、NFSプロトコルをサポートする共有ファイルシステムを使用することです。

どのストレージサービスがこの要件を満たしますか？

- A. オブジェクトストレージ
- B. ブロックボリューム
- C. データ転送アプライアンス
- D. ファイルストレージ

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

アプリケーションまたはワークロードにビッグデータと分析、メディア処理、またはコンテンツ管理が含まれ、ポータブルオペレーティングシステムインターフェイス (POSIX) 準拠のファイルシステムアクセスセマンティクスと同時にアクセス可能なストレージが必要な場合は、ファイルストレージサービスを使用します。ファイルストレージサービスは、次のような幅広いユースケースでエンタープライズファイルシステムを必要とするアプリケーションとユーザーのニーズを満たすように設計されています。

汎用ファイルストレージ：構造化データと非構造化データの増大を管理するためのファイルシステムの無制限のプールへのアクセス。

ビッグデータと分析：分析ワークロードを実行し、共有ファイルシステムを使用して永続データを保存します。

エンタープライズアプリケーションのリフトとシフト：Oracle E-Business SuiteやPeopleSoftなど、NFSストレージを必要とする既存のOracleアプリケーションを移行します。

データベースとトランザクションアプリケーション：Oracle、MySQL、またはその他のデータベースを使用してテストおよび開発ワークロードを実行します。

バックアップ、ビジネス継続性、およびディザスタリカバリ：バックアップとディザスタリカバリの目的で、オンプレミスからクラウドに関連するファイルシステムのセカンダリコピーをホストします。

MicroServicesとDocker：コンテナにステートフルな永続性を提供します。コンテナベースの環境の成長に合わせて簡単に拡張できます。

最新問題: 94

Oracle Cloud Infrastructure Block Volumeサービスのブロックボリュームバックアップからボリュームを復元することについて正しい2つのステートメントはどれですか？

- A. ボリュームをフルボリュームバックアップから復元することはできますが、増分バックアップから復元することはできません。
- B. ボリュームは、元のブロックボリュームが存在するのと同じ可用性ドメインにのみ復元できます。
- C. ブロックボリュームバックアップをより大きなボリュームサイズに復元できます。
- D. バックアップが保存されているのと同じリージョン内の任意の可用性ドメインにボリュームを復元できます。
- E. 手動ブロックボリュームバックアップから復元できるボリュームは1つだけです。

Answer: C,D ([メッセージを残す](#))

参照<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Block/Tasks/restoringavolumefromabackup.htm>

最新問題: 95

Autonomous Data Warehouse (ADW)にデータを直接ロードするために有効な2つのオプションはどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. データインテグレーター
- B. データポンプ
- C. データ転送サービス
- D. SQL *ローダー

Answer: B,D ([メッセージを残す](#))

参照 :

最新問題: 96

フォールトドメインに関する2つの説明のうち正しいものはどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. 障害ドメインは、可用性ドメイン内のハードウェアとインフラストラクチャのグループです
- B. 各可用性ドメインには3つの障害ドメインが含まれます
- C. 障害ドメインで障害が発生したインスタンスは自動的に再起動されます
- D. 使用状況データに基づいて障害ドメインが自動的に選択されます

Answer: (解答を表示する)

参照 :

障害ドメインは、可用性ドメイン内のハードウェアとインフラストラクチャのグループです。各可用性ドメインには、3つの障害ドメインが含まれています。障害ドメインは非親和性を提供します。インスタンスを分散して、インスタンスが単一の可用性ドメイン内の同じ物理ハードウェア上にないようにします。

最新問題: 97

仮想クラウドネットワークで利用できる最大IPアドレスサイズの範囲はどれくらいですか？

- A. / 16
- B. / 26

C. / 24

D. / 8

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

VCNを作成するときは、選択した連続したIPv4CIDRブロックを割り当てます。/ 16 (65,533 IPアドレス)から/ 30 (1 IPアドレス)の範囲のVCNサイズが許可されます。例：

10.0.0.0/16、192.168.0.0/24。

最新問題: 98

単一の可用性ドメインに排他的に存在する2つのリソースはどれですか？ 2つ選択してください。)

A. インスタンスを計算します

B. ブロックボリューム

C. オブジェクトストレージ

D. グループ

E. 仮想クラウドネットワーク

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

説明

可用性ドメイン固有のリソース

DBシステム

一時的なパブリックIP

インスタンス：同じ可用性ドメイン内のボリュームにのみ接続できます。

サブネット：サブネットを作成するときに、それがリージョナルであるか、可用性ドメインに固有であるかを選択します。

地域サブネットを使用することをお勧めします。

ボリューム：同じ可用性ドメイン内のインスタンスにのみ接続できます。

最新問題: 99

ブロックボリュームのクローン作成に関して正しい2つのステートメントはどれですか？

A. クローン作成時にブロックボリュームのパフォーマンスを変更できます

B. リージョン間でブロックボリュームのクローンを作成できます

C. クローン作成時にブロックボリュームサイズを変更できます

D. クローンを作成するときにブロックボリュームの暗号化をスキップできます

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

説明

ブロックボリュームサービスを使用して、ボリュームからクローンを作成できます。クローンを作成すると、バックアップと復元のプロセスを実行しなくても、既存のブロックボリュームのコピーを作成できます。

クローンボリュームは、ソースボリュームの特定の時点でのディスクからディスクへの直接のディープコピーであるため、クローンの作成時にソースボリュームにあるすべてのデータがクローンボリュームにコピーされます。

同じリージョン、可用性ドメイン、およびテナント内のボリュームに対してのみクローンを作成できます。操作に必要なアクセス許可がある限り、コンパートメント間のボリュームのクローンを作成できます。

クローンの作成中に、次のことができます

ブロックボリュームをより大きなサイズのボリュームに複製する場合は、[カスタムブロックボリュームサイズ (GB)]をオンにして、新しいサイズを指定します。ボリュームのサイズを大きくすることはできますが、小さくすることはできません。ブロックボリュームをより大きなサイズのボリュームに複製する場合は、ボリュームのパーティションを拡張する必要があります。詳細については、ブロックボリュームのパーティションの拡張を参照してください。

ボリュームのクローンを作成するときにエラスティックパフォーマンス設定を変更する場合は、[カスタムブロックボリュームパフォーマンス]をオンにして、ボリュームクローンで使用するエラスティックパフォーマンス設定を選択します。詳細については、Block VolumeElasticPerformanceを参照してください。ボリュームのクローンを作成した後で、エラスティックパフォーマンス設定を変更することもできます。ボリュームのエラスティックパフォーマンスのブロックを参照してください。[カスタムブロックボリュームパフォーマンス]をオフのままにすると、複製されたボリュームはソースボリュームと同じエラスティックパフォーマンス設定を使用します。

最新問題: 100

金融会社は、高可用性とフォールトトレランスを備えている必要があるオンライン取引プラットフォームのアプリケーションアーキテクチャを設計しています。

彼らのソリューションアーキテクトは、米国西部 (us-phoenix-1) リージョンにあるOracle Cloud Infrastructure ObjectStorageバケットを使用して大量の財務データを格納するようにアプリケーションを構成しました。バケットに保存されている財務データは、可用性ドメインの1つまたは完全なリージョンで停止が発生した場合でも影響を受けないようにする必要があります。

コストのかかるサービスの中断を回避し、データの耐久性を確保するには、アーキテクトは何をすべきですか？

- A. オブジェクトストレージバケットをブロックボリュームにコピーします。
- B. 標準からアーカイブストレージにデータを定期的に変換するライフサイクルポリシーを作成します。
- C. 別のリージョンに新しいオブジェクトストレージバケットを作成し、5日ごとにデータを移動するようにライフサイクルポリシーを構成します。
- D. 別のOCIリージョンの別のバケットにデータを送信するレプリケーションポリシーを作成します。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

Valid 1Z0-1072-20 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing 1Z0-1072-20 Exam!
GoShiken.com now offer the **newest 1Z0-1072-20 exam dumps**, the GoShiken.com
1Z0-1072-20 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get
the **newest** GoShiken.com 1Z0-1072-20 dumps with Test Engine here:

<https://www.goshiken.com/Oracle/1Z0-1072-20-mondaishu.html> (**240** Q&As Dumps, **30%OFF**

Special Discount: Freepdfdumps)